LIXIL
INAX

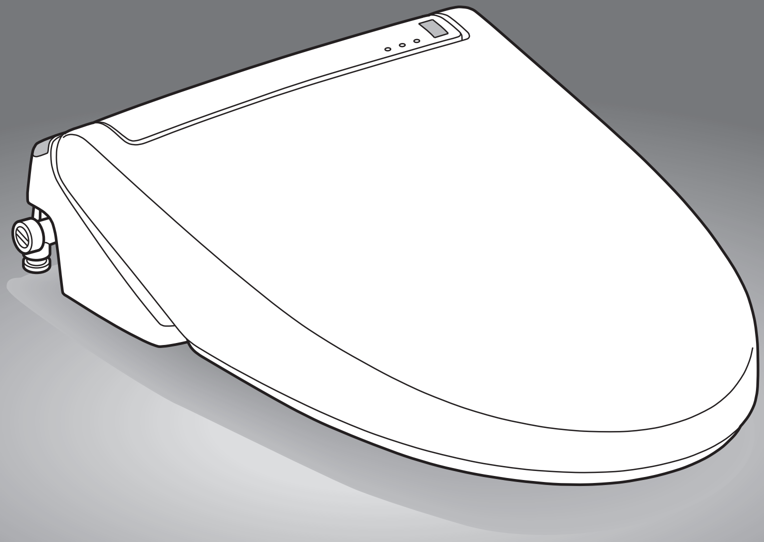
Shower toilet

取扱説明書 | 保証書別添 |

シャワートイレ

PASSO［パッソ］| CW-EA14型 ,CW-EA13型 ,CW-EA12型 ,CW-EA11型

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、ご病気の方、小さなお子さまも、
おひとりでご使用になるものです。しかも肌に直接触れます。
万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。



この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

7～11ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

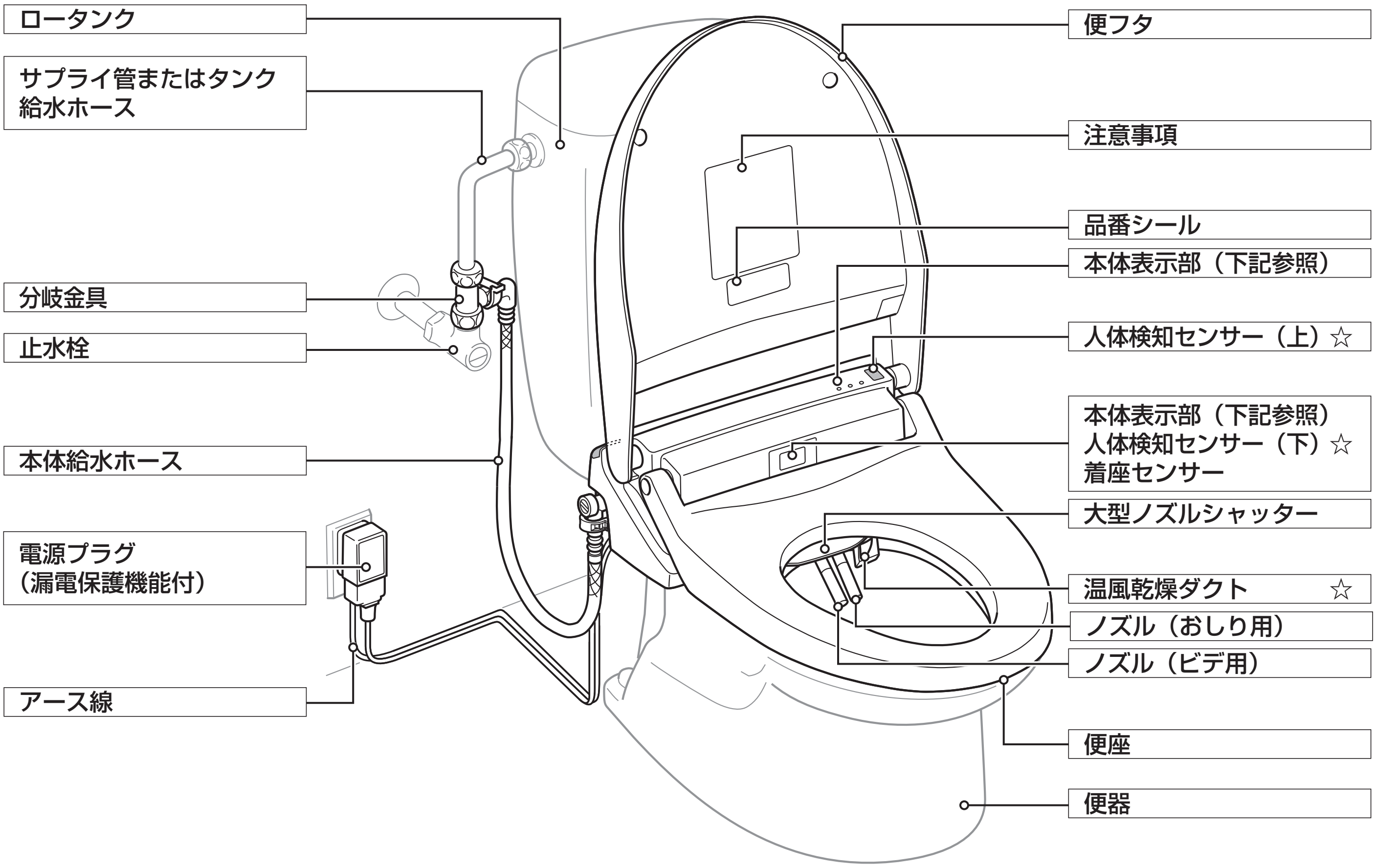
★工事店様へ　貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入のうえ、お客さまへお渡しください。

プラ
袋：PE

各部のなまえ

全体図

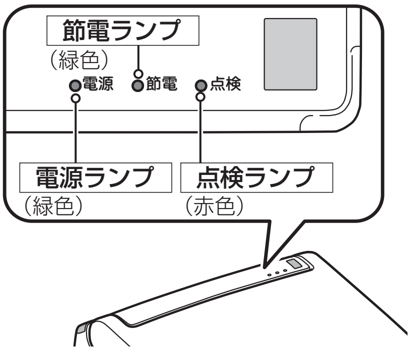
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



※操作は、リモコン操作のみになります。

本体表示部

●本体表示部

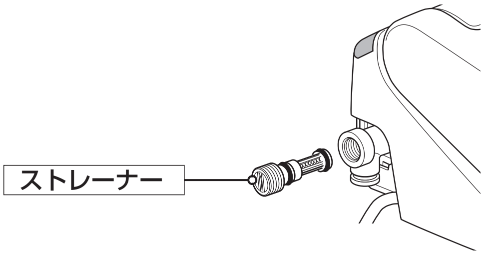


※点検ランプは点検時期が来たことをお知らせするランプです。（☞ 77 ページ）

●本体表示部　着座センサー　人体検知センサー（下）

ストレーナー

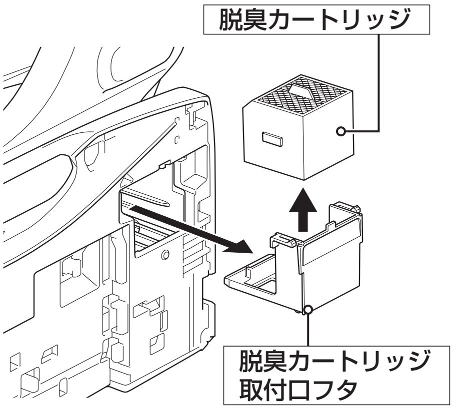
〈本体向かって左側面〉



※ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
※ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。（☞ 59 ページ）

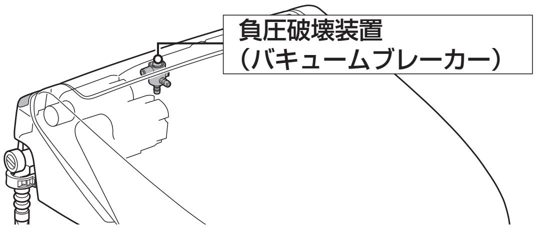
脱臭カートリッジ

〈本体右底面〉



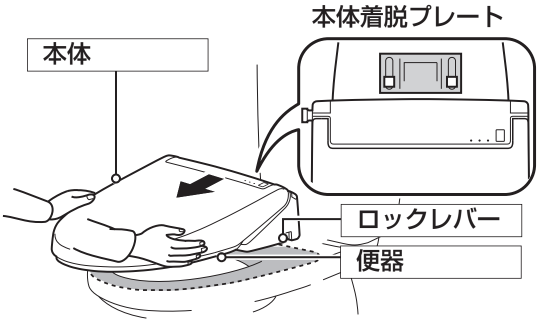
※イラストは、便器から本体を取り外した状態です。(☞ 51、58 ページ)

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）



バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。
また、定期的な点検が必要です。(☞ 62 ページ)

本体着脱プレート＆ロックレバー



※お手入れ時、本体を着脱するためのプレートです。(☞ 51 ページ)

目次

■ 最初にお読みください
○各部のなまえ …… 1
○機能の紹介 …… 5

■ 必ずお読みください
○安全上のご注意 …… 7

■ 故障を防ぐためのご注意
○お取扱い上のご注意 …… 12

■ ご使用方法
○ご使用前の準備と確認
①止水栓は開いていますか？ …… 13
②電源プラグとアース線をコンセントに接続 …… 13
③おしり洗浄のシャワーは出ますか？ …… 14
④シャワー温度を調節 …… 15
⑤便座温度を調節 …… 15
⑥時計を合わせる …… 16
○一般的な使い方
①便器の前に立つと、便フタが自動的に開く …… 17
②自動的に脱臭が作動する …… 19
③シャワーで洗う …… 20
④温風で乾かす …… 24
⑤便器を洗浄する …… 25
⑥便器から離れると便フタが閉じる …… 26

■ 便利な使い方
○節電 …… 27
○ニオイを強力に取り除く【ターボ脱臭】 …… 28
○イオンで除菌【鉢内除菌】 …… 29
○足元を明るく【ほのかライト】 …… 30
○もっと快適に
低温ヤケドを防ぐ …… 31
温風乾燥の始めの温度を変える …… 32
便器洗浄の開始時間を変更する …… 33
リモコン操作音を消す …… 34
お買い上げ時の設定に戻す …… 35
変更した設定の記憶について …… 35

■ 知っておけば便利で安心
○知っておいていただきたいこと …… 37
○こんなときは …… 39
○凍結しそうなときは …… 40

■ お掃除・お手入れ方法 …… 43

■ 故障かな？と思ったら
○修理を依頼する前に …… 65

■ 安全・安心にお使いいただくために …… 77

■ アフターサービス …… 80

■ 仕様 …… 82

■ 別売品のご案内 …… 83

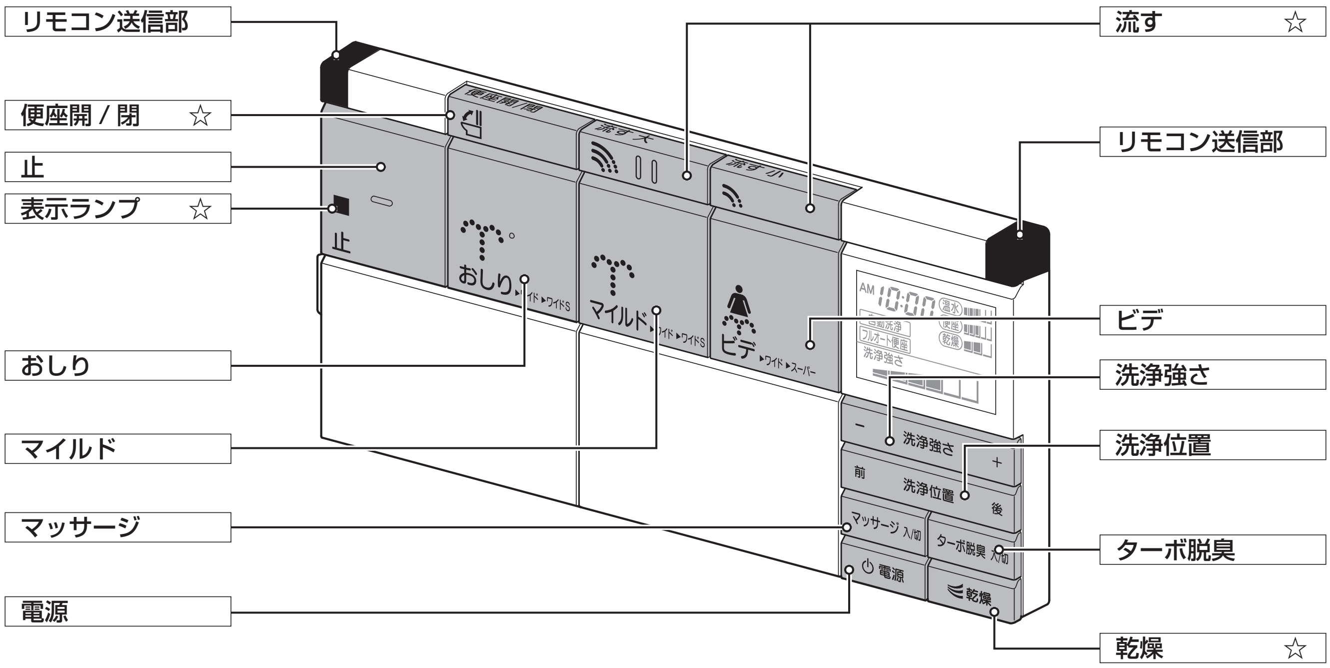
■ 重大事故防止のためのお願い …… 85

各部のなまえ

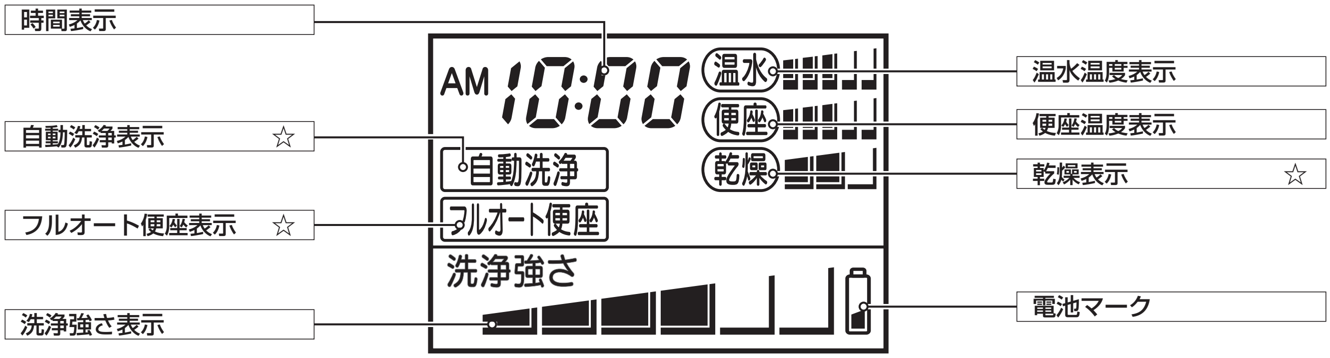
壁リモコン　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

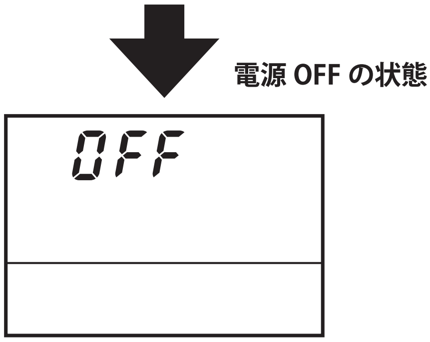
1. 主操作部

※リモコン操作時は、リモコン液晶部のバックライトが点灯します。〈ほのかライト付の場合〉



2. 液晶部



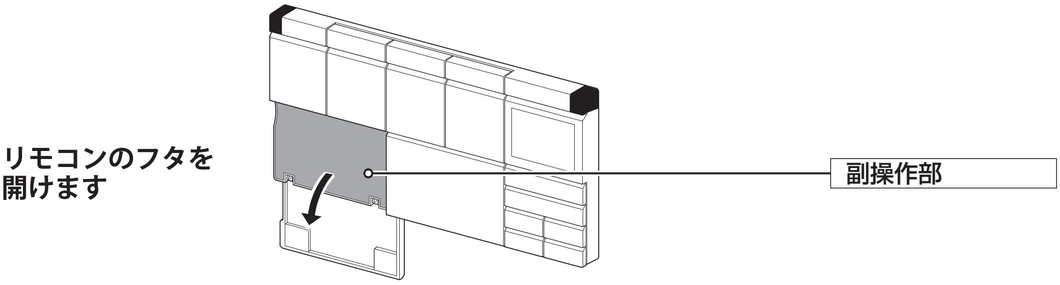


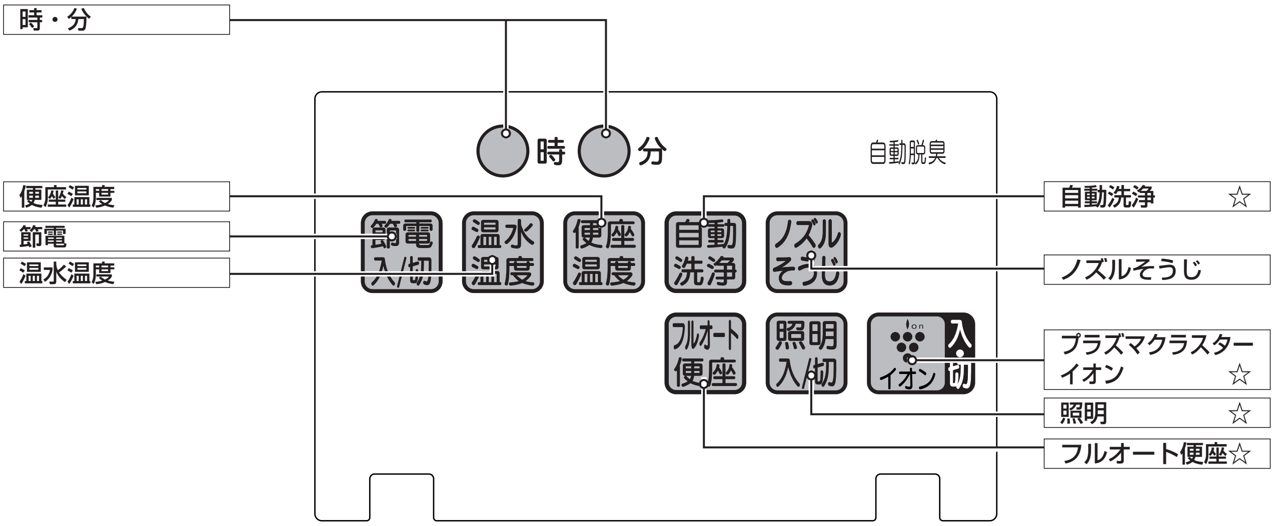
（参考）
- リモコンの電源スイッチで電源を「切」にした場合、液晶部に「OFF」と表示されます。

壁リモコン

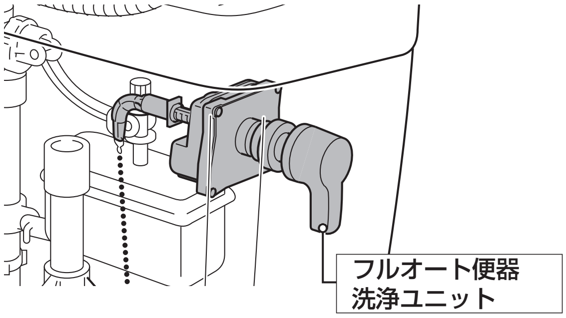
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

3. 副操作部





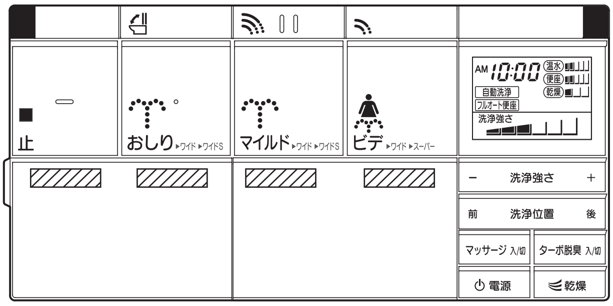
フルオート便器洗浄ユニット☆



※ フルオート便器洗浄ユニットは、イラストと異なる場合もあります。
※ ロータンク部にあります。

❖点字シールの貼付方法

点字シールは図の位置に貼り付けてご使用ください。
貼り付ける際は、位置や向きに注意してください。



機能の紹介

品番は、便フタ裏の品番シール（☞ 1 ページ）に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。

洗浄機能				CW-EA14 型	CW-EA13 型	CW-EA12 型	CW-EA11 型
おしり洗浄	おしり	☞ 20	おしりをしっかり洗える洗浄です。	○	○	○	○
	マイルド	☞ 21	おしりをやさしく洗うマイルド洗浄です。	○	○	○	○
ビデ洗浄		☞ 22	ソフトなシャワーでやさしく洗浄。	○	○	○	○
おしりワイド洗浄		☞ 20~21	ノズルが前後に動き、広い範囲を洗浄。	○	○	○	○
おしりワイドS洗浄		☞ 20~21	ノズルが前後に小刻みに動きながら洗浄し、おしりを刺激。	○	○	○	○
おしりマッサージ洗浄		☞ 23	強弱をつけた洗浄で、おしりを刺激。	○	○	○	○
スーパーワイドビデ洗浄		☞ 22	ノズルを前後に動かしながら洗浄。従来のワイドビデ洗浄より広い範囲をよりやさしくしっかり洗えます。	○	○	○	○
ワイドビデ洗浄		☞ 22	ノズルが前後に動き、広い範囲をやさしく洗浄。	○	○	○	○
ノズル位置調節		☞ 23	ノズルをお好みの位置に調節。	○	○	○	○

快適機能			CW-EA14 型	CW-EA13 型	CW-EA12 型	CW-EA11 型
鉢内除菌	☞ 29	プラズマクラスターイオンで付着菌を除菌、脱臭。	○	—	—	—
フルオート便座	☞ 17	便器に近づくと自動で便フタが開き、離れると閉まります。	○	○	—	—
ほのかライト	☞ 30	足元と便鉢内を照らします。夜中の使用時に便利です。	○	○	—	—
フルオート便器洗浄	☞ 25	便座から立ち上がると自動的に便器を洗浄。	△	△	△（男子小洗浄なし）	△（男子小洗浄なし）
リモコン便器洗浄	☞ 25	手元のリモコン操作で便器を洗浄でき、腰への負担がありません。	△	△	△	△
温風乾燥	☞ 24	温風で、おしりをさらっと乾燥。	○	○	○	—
Wパワー脱臭	☞ 19	便座に座ると自動で脱臭。	○	○	○	○
ターボ脱臭	☞ 28	スイッチ操作で強力脱臭。	○	○	○	○
暖房便座	−	寒い日でも、おしりあたたか。	○	○	○	○
スローダウン便座	−	便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を軽減します。	○	○	○	○
便座ヒーターオートOFF	☞ 31	便座に座るとヒーター OFF。低温やけどを防止します。	○	○	○	○
着座センサー	☞ 37	人が座らないとシャワーなどの機能が作動しない、誤作動防止センサーです。	○	○	○	○
さらっと便座（オプション）	☞ 46	ベタつき感の少ない、快適な座り心地。	○	○	○	○
リモコン	−	見やすく、ラクな姿勢で操作できます。	○	○	○	○
インテリアリモコン対応（オプション）	−	紙巻機と一体になったインテリア性を重視したリモコンです。	○	○	○	○
点字対応	☞ 4	目の不自由な方に配慮した点字対応。	○	○	○	○

○：保有機能あり　ー：保有機能なし　△：CW-EA10Q 型

清潔機能			CW-EA14 型	CW-EA13 型	CW-EA12 型	CW-EA11 型
お掃除リフトアップ	☞ 49~50	お掃除ができなかった便器とのすき間をラクラクお掃除。	○	○	○	○
女性専用レディスノズル	ー	女性にやさしいビデ専用ノズル。	○	○	○	○
ノズルシャッター	☞ 53	使わないときは、ノズルを収納。着脱式でお掃除ラクラク。	○	○	○	○
ノズルお掃除モード	☞ 54~55	ノズルが伸出して、お掃除ラクラク。	○	○	○	○
ノズルそうじ	☞ 54	スイッチ操作でノズルを洗浄します。	○	○	○	○
ノズルオートクリーニング	☞ 21~22	使用前後にノズルをたっぷりのお湯で洗います。	○	○	○	○
ノズル先端着脱	☞ 56~57	ノズルの先端が交換可能でいつも清潔。	○	○	○	○
キレイ便座	ー	つぎ目をなくし、さらに便座の裏の防汚処理でお掃除ラクラク。	○	○	○	○
便フタワンタッチ着脱	☞ 47~48	便フタが簡単に取り外せて、お掃除ラクラク。	○	○	○	○
抗菌樹脂（ISO 抗菌準拠）	☞ 45	銀イオンパワーの抗菌効果。	○	○	○	○

省エネ機能			CW-EA14 型	CW-EA13 型	CW-EA12 型	CW-EA11 型
省エネ便座	ー	便座の熱を逃がさず節電します。	○	○	○	○
スーパー節電	☞ 27	使わないときは、自動的に便座温度を下げて節電します。	○	○	○	○
ワンタッチ節電（8 時間）	☞ 27	スイッチ操作で一定時間、ヒーターをオフにして節電します。	○	○	○	○
電源スイッチ	ー	スイッチ操作でこまめに節電。	○	○	○	○

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	注意
この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。	この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ 警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜差ししない。
※ 感電の恐れがあります。

指示実行

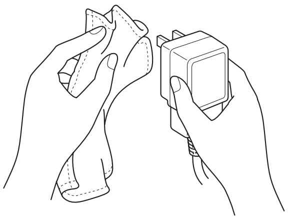
電源プラグの抜差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。

水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤を掛けない。
※ 感電・火災の原因になります。

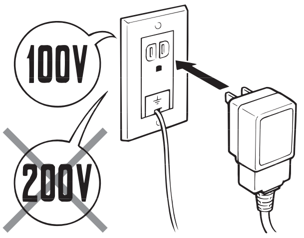
指示実行

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。



禁止

●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。



禁止

電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。

指示実行

電源プラグは根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。

禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 感電などの原因になります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

⚠	🚫 禁止	❗ 指示実行
この表示は「注意しなさい！」の記号です。（左記の『警告』、『注意』と併記して注意を促す記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。	この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

長時間使用するときは便座温度を「切」にする。

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

〈温風乾燥付の場合〉次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

〈温風乾燥付の場合〉温風乾燥を長時間使用するときは温風乾燥温度を「低」にする。

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

電池は以下のことを守り、正しく使用する。

- ⊕⊖を正しく入れる。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行う。

※ 電池の液漏れにより火災の原因となります。

- 乳幼児の手の届く場所には置かない。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。

※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

禁止

電池を取り扱うときは、以下のことはしない。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しない。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れない。

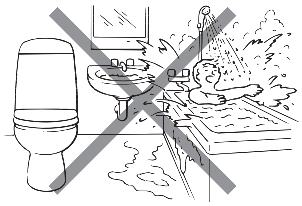
※ 電池の液漏れにより火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

水場使用禁止

バスルームなどの
湿気の多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。



指示実行

凍結の恐れがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
(☞ 40 ページ)
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

⚠ 注意

指示実行

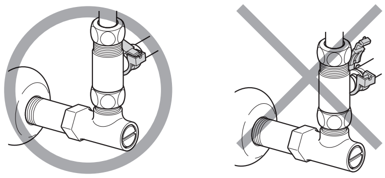
プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認する。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

水道水以外に接続しない。

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

便フタや本体の上に乗らない。

※ 破損してケガをする恐れがあります。

禁止

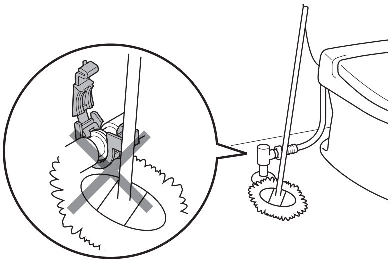
止水栓に手をかけたり、乗ったりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のときなどに、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けない。

※ クリップの破損などにより給水ホースが外れ、室内浸水の原因になります。



火気禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけない。

※ 火災の恐れがあります。

禁止

便フタにもたれない。

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。

※ ケガの恐れがあります。

指示実行

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。

※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害の恐れがあります。

⚠ 注意

指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。
(☞ 63 ページ)
※ 凍結破損により火災・室内浸水の恐れがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこす恐れがあります。

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が転倒に注意する。
- お子さま
- お年寄り
- ご自分で座ることや立ち上がることができない方

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

指示実行

お掃除のときには必ず電源プラグをコンセントから抜く。
※ 感電の恐れがあります。
（ノズル掃除や電動お掃除リフトアップ機能を使用する場合は、電源を入れた状態で行ってください。）

指示実行

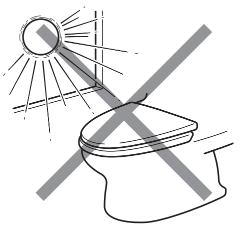
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

お取扱い上のご注意

直射日光が当たらないように してください。

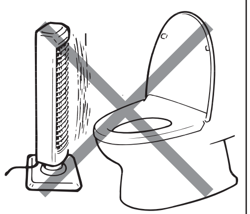
※ プラスチック部が変色することがあります。

※ リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。



シャワートイレ本体や付属品に ストーブやヒーターなどを 近づけすぎないでください。

※ 変色や故障の原因になります。



便フタおよび便座の開閉は 乱暴に行わないでください。

※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

本体・便座・便フタなどのプラスチック部を 乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。

詳しいお手入れ方法は 43 ページをご覧ください。

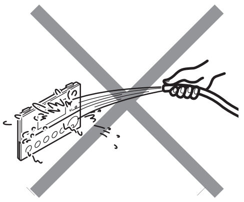
※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。

※ 故障の原因になります。

リモコンに水や洗剤を かけないでください。

※ 故障の原因になります。



〈フルオート便器洗浄付の場合〉

洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを 抜くと、流れっ放しになる場合があります。

その際は、洗浄ハンドルを戻してください。

(☞ 39 ページ)

プラスチック部にトイレ用消臭剤を掛けないで ください。

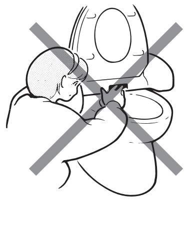
掛かった場合は、すぐにふき取ってください。

※ 光沢がなくなることがあります。

〈温風乾燥付の場合〉

絶対に温風の吹出口を ふさがないでください。

※ 故障の原因になります。



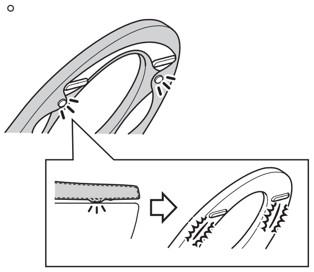
不適切な便フタカバー・便座カバーを 取り付けないでください。

※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。

※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れることがあります。

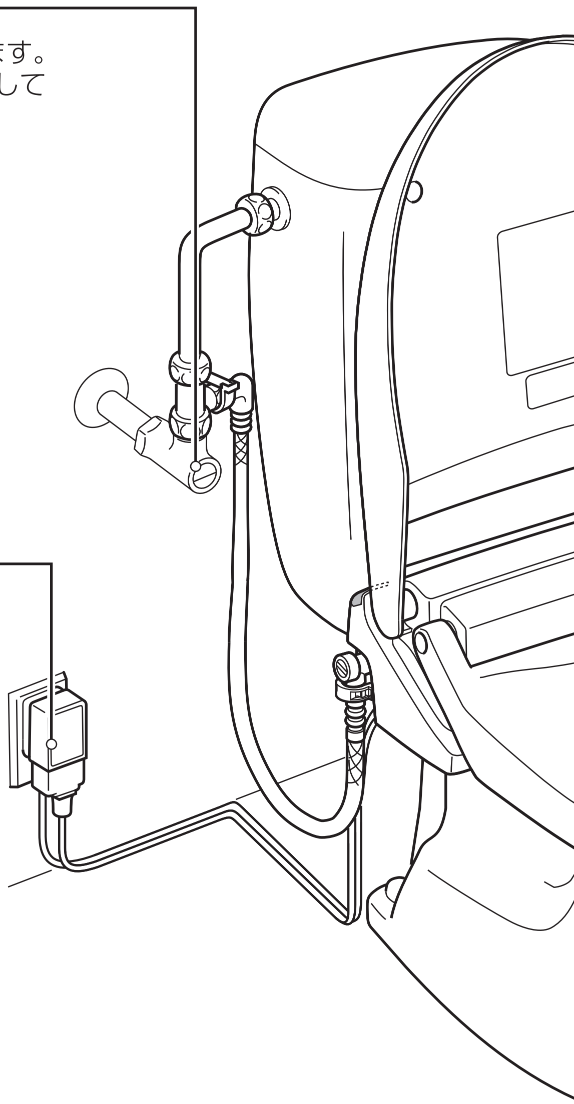
※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっ放しになります。これにより脱臭ファンが回りっ放しになったり、便座が冷たくなることがあります。

※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくることがあります。



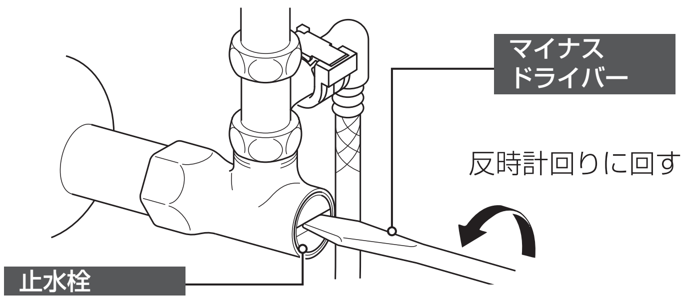
ご使用前の準備と確認

※ シャワートイレを始めて使用される前に、必ず以下の項目を確認してください。



STEP 1 止水栓は開いていますか？

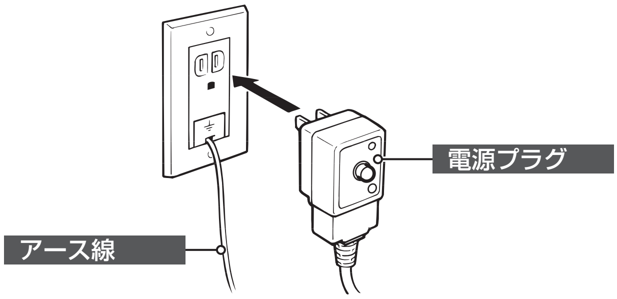
※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ず元の位置に戻してください。



STEP 2 電源プラグとアース線をコンセントに接続

●「アース線」をコンセントのアース端子に接続する

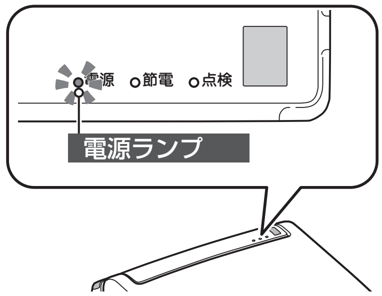
●「電源プラグ」をコンセント（AC100V）に差し込む

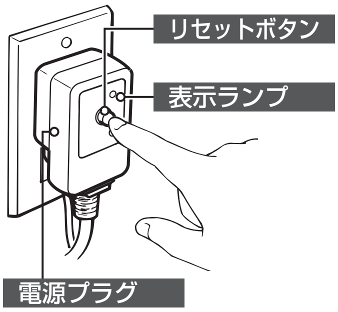


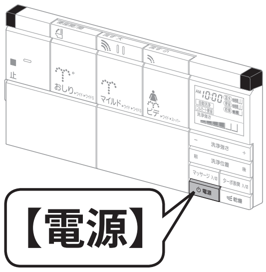
●「電源ランプ」の点灯を確認する

※ 本体表示部の「電源ランプ」（緑色）が点灯します。
「電源ランプ」が点灯しなかった場合は「電源プラグ」の「リセットボタン」を押します。それでも点灯しない場合は、リモコンの【電源】を押してください。
（リモコンの【電源】を押すことで、本体の電源を入 / 切できます。「切」状態では機能は動作しません。）

●表示部
人体検知センサー（上）

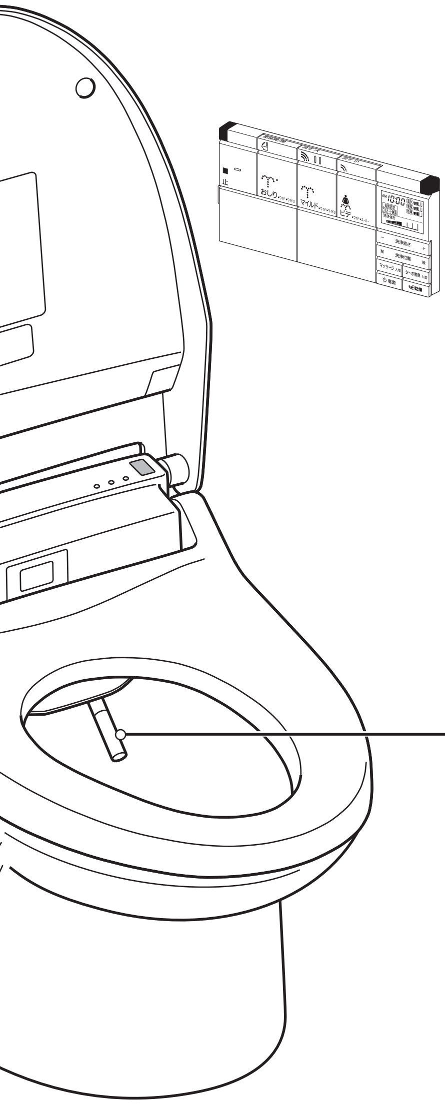






※「電源プラグ」には、シャワートイレ内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。
電気を遮断すると表示ランプが点灯します。
（通常は消灯しています。）

> [注意]
> ●電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。



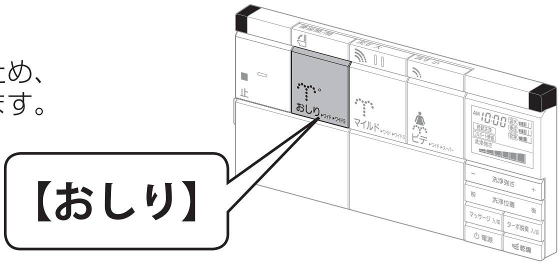
STEP 3
おしり洗浄のシャワーは出ますか？

● 着座センサーを紙や布で覆う

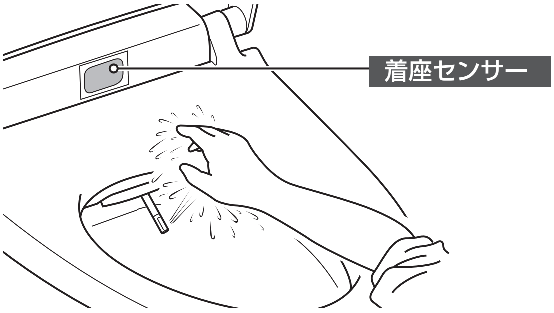
※人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。
おしり洗浄･マイルド洗浄･ビデ洗浄･温風乾燥（温風乾燥付の場合）は、着座していないと作動しません。
※覆う紙や布が黒色のとき、着座センサーが反応しない場合があります。
※約 30 秒間ノズル付近から水が出ますが、機能上必要なもので、故障ではありません。

●【おしり】を押す

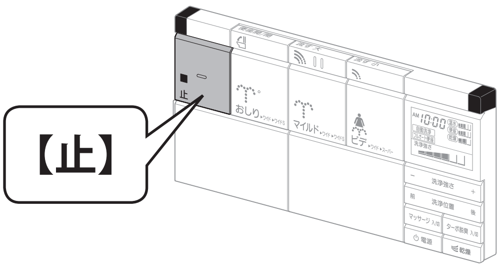
※このとき、準備動作のため、ノズル付近から水が出ます。



● ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める



●【止】を押して、シャワーを止める



● 着座センサーを覆っていた紙や布を取り去る

※一般的な使い方（17 ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。

⚠ 警告

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※感電などの原因になります。

⚠ 警告

禁止

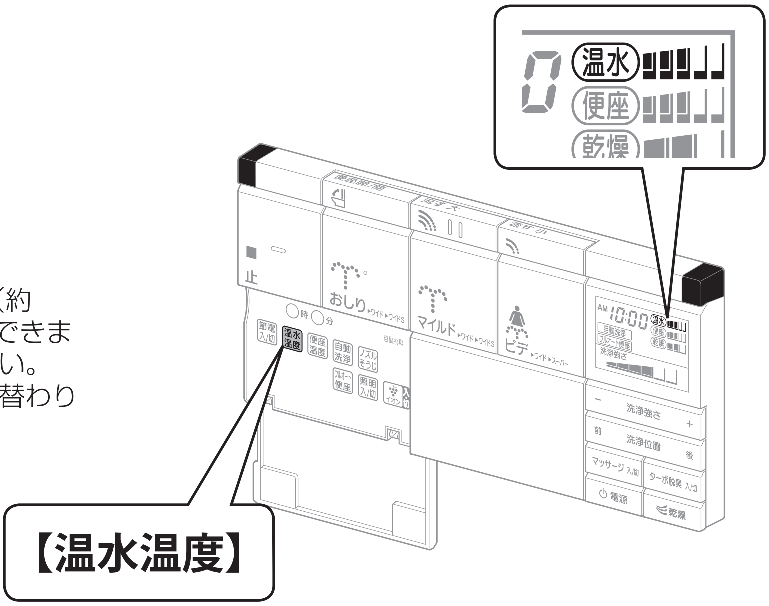
●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※火災の原因になります。

ご使用方法

STEP
4
シャワー温度を調節

●【温水温度】を押す

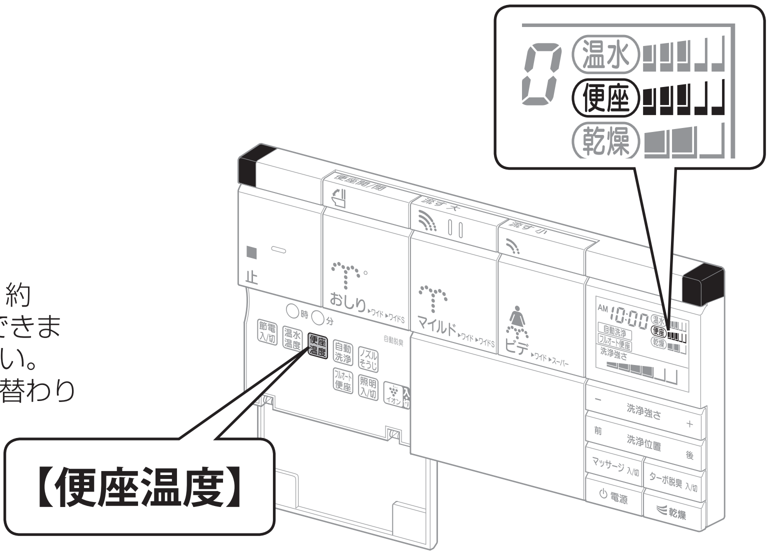
※温水温度は 6 段階（「切（水温)」、「低（約 32℃)」～「高（約 40℃)」）に切替えできますので、お好みの温度に設定してください。
※スイッチを押すたびに、液晶表示が切り替わります。



STEP
5
便座温度を調節

●【便座温度】を押す

※便座温度は 6 段階「(切 (室温)」、「低 (約 28℃)」～「高 (約 36℃)」に切替えできますので、お好みの温度に設定してください。
※スイッチを押すたびに、液晶表示が切り替わります。



⚠警告

指示実行

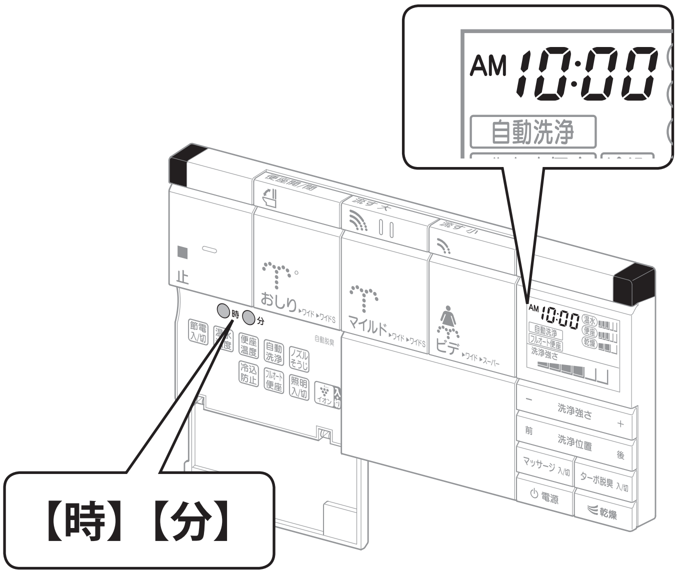
次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。
- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）
●便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
●座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。（☞ 31 ページ)
●省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境などによっては、便座が冷たいと感じる場合があります。

STEP 6

時計を合わせる



● **液晶画面を見ながら【時】【分】を押す**

※ AM (午前)、PM (午後) に注意してください。
※ 1 秒間押し続けると、早く切り替わります。
※ 時計精度は常温（約 25℃）において月差± 1 分以内です。
※ スイッチを押すたびに、液晶表示が切り替わります。

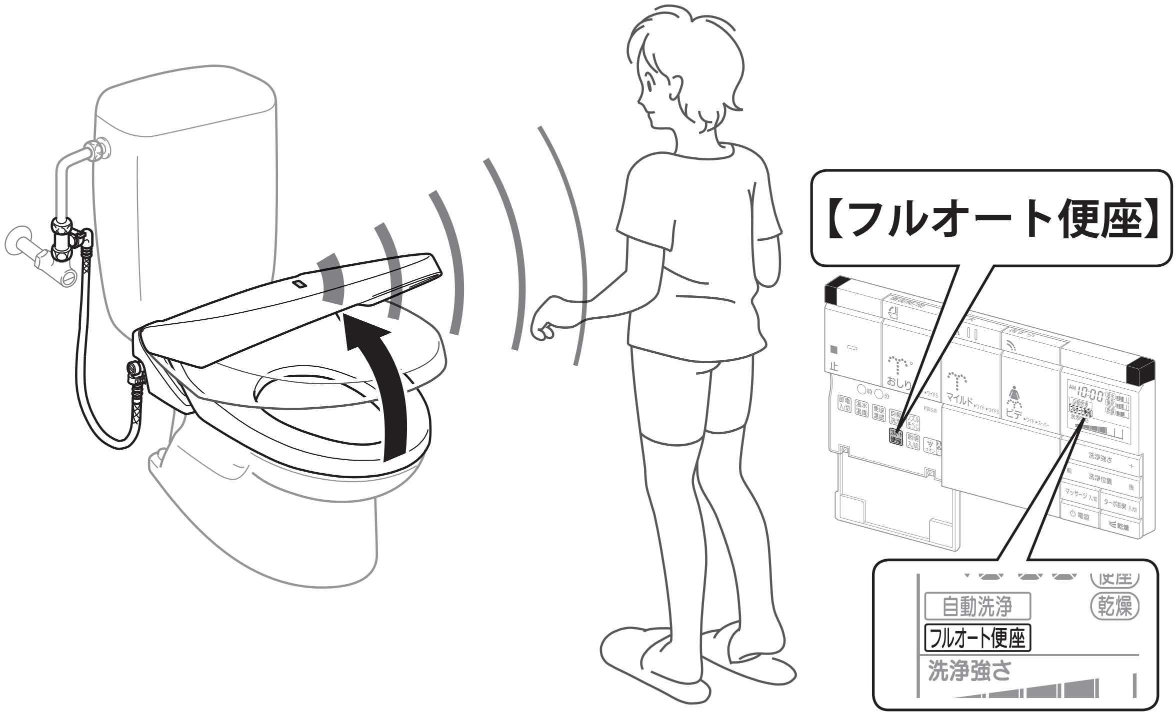
一般的な使い方

STEP 1 便器の前に立つと、便フタが自動的に開く

※この機能の付いていない機種があります。
　5ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

●【フルオート便座】を押し、「入」にする

※液晶部にフルオート便座表示が表示されます。
※お買い上げ時は、「入」になっています。

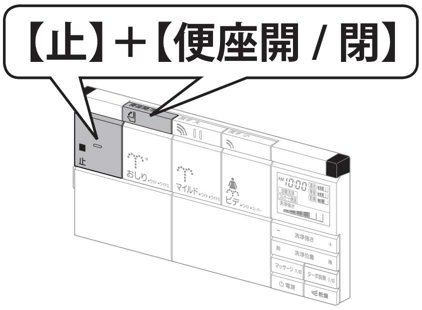


※便フタが単独で開いた後、着座センサーが検知しなければ、約3分後に便フタが閉まります。
※「人体検知センサー（上）」が熱の変化（人の動き）を検知して、便フタを自動的に開きます。
　トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。
※センサーの誤検知による急な作動などがないように、電源プラグを接続して約1分間は、自動で便フタは開きません。
※手で便フタを閉じた場合は、10秒間は開きません。

■便フタと便座を同時に開ける場合

【止】と【便座開 / 閉】を同じタイミングで2秒以上押します。

※セット完了時、「ピッ」という音がなります。
※便器から離れて約1分後に便座・便フタが閉まります。
※元に戻す場合も【止】と【便座開 / 閉】を同じタイミングで2秒以上押します。
　（セット完了時、「ピー」という音がなります。）



（参考）

●夏場など、室温が30℃を超えると、人を検知しにくい場合があります。トイレ室内を換気したり、体を動かすなどしてみてください。

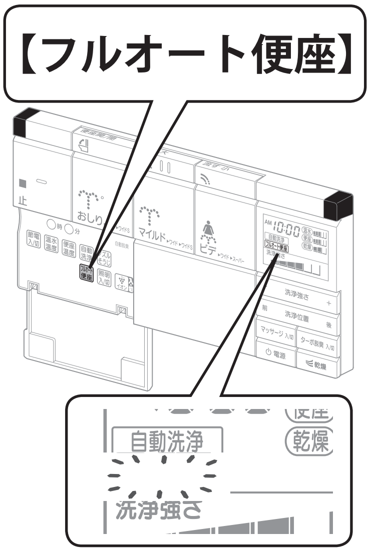
[注意]

●太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。

手動で便フタや便座を開閉するとき

【フルオート便座】を押し、「切」にする

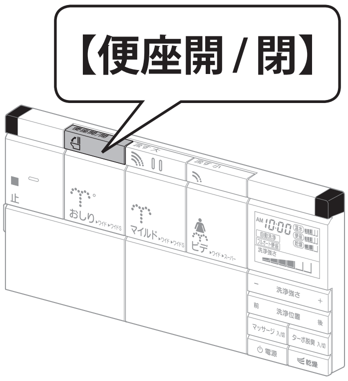
※液晶部のフルオート便座表示が消えます。
※小さなお子さまが使用するときは、【フルオート便座】を「切」にしてください。
小さなお子さまの場合、「着座センサー」が検知できず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。



[注意]
●手で開閉するときは、強い力を加えず、軽く開閉してください。
※強い力を加えると、故障の原因になります。

リモコンで便座を開閉するとき

1【便座開 / 閉】を押すと開く
2【便座開 / 閉】をもう一度押すと閉じる



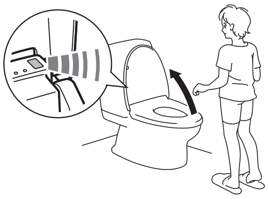
❖便フタや便座にカバーを取り付ける場合
不適切なカバーをご使用になると、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。

[注意]
● 便フタや便座の作動中は手などで動きを止めたり、逆方向に動かしたりしないでください。〈フルオート便座付の場合〉
※便フタや便座の開閉機能が正常に動かなかったり、故障の原因になります。
※無理な力を加えた場合、安全機能が働きカチカチと音がすることがあります。

STEP
2
自動的に脱臭が作動する

フルオート便座付の場合（3 モード脱臭）

1 便フタが開くと強力脱臭開始
便フタが開くと、脱臭ファンが「フルパワーモード」で作動し、ニオイを除去します。



2 座っている間は通常脱臭
脱臭ファンが「パワーモード」になり、ニオイを除去します。

3 立ち上がると強力脱臭
再び脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

4 脱臭停止
脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

フルオート便座無の場合（2 モード脱臭）

1 座ると通常脱臭
脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

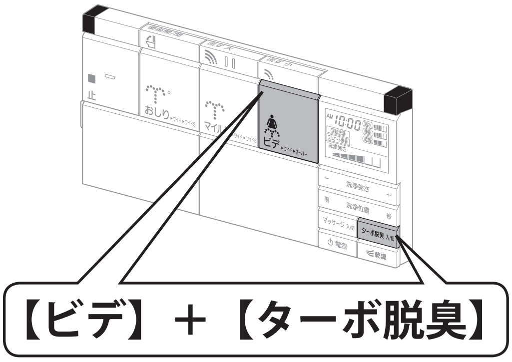
2 立ち上がると強力脱臭
脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

3 脱臭停止
脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

■自動脱臭を使用しない場合

【ビデ】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、「ピー」という音がなります。
※再び、使用する場合も【ビデ】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押します。（セット完了時､「ピッ」という音がなります。）



（参考）
●シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが付いています。（☞ 58 ページ）

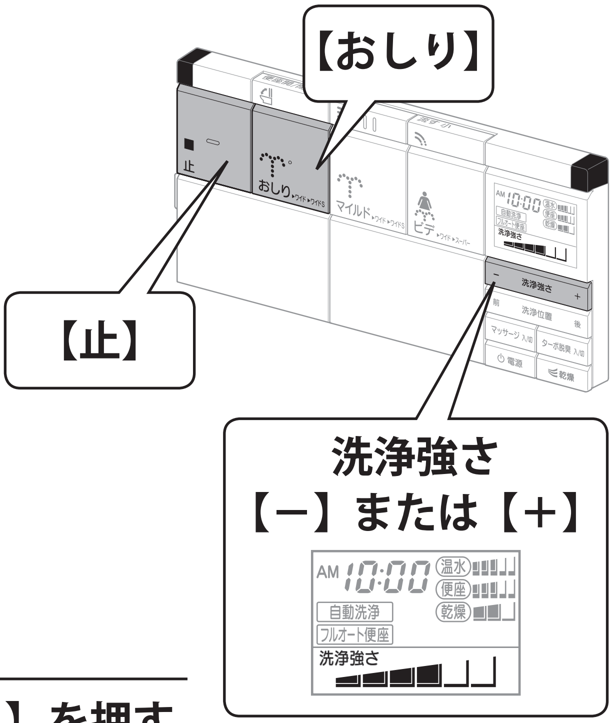
STEP
3 シャワーで洗う

❖おしり洗浄には 2 種類のモードがあります。

おしり洗浄	マイルド洗浄
シャワーで洗浄	優しいシャワーで洗浄

おしり洗浄▶ワイド洗浄▶ワイド S 洗浄

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗浄します。



おしり洗浄

●【おしり】を押す

● 止めるときは【止】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【−】または【+】を押す

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さは液晶部の洗浄強さ表示に表示されます。
※ 洗浄強さの感じ方には個人差があります。

洗浄モードを切り替えるとき

おしり洗浄中に、もう一度【おしり】を押す

※ おしり洗浄中、【おしり】を押すたびにモードが切り替わります。
※ 洗浄を止め、もう一度【おしり】を押すと「おしり洗浄」から始まります。

おしり洗浄 → **ワイド洗浄** → **ワイド S 洗浄** →（おしり洗浄に戻る）

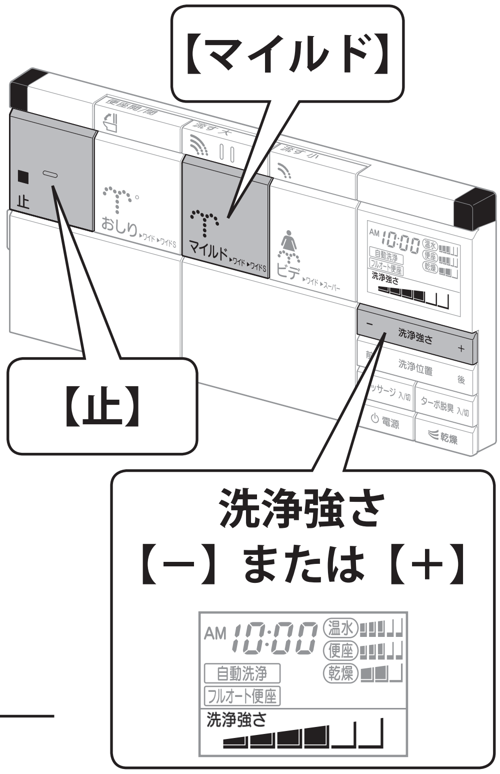
ワイド洗浄：ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。

ワイド S 洗浄：ノズルが前後に小刻みに動いて、ていねいに洗浄します。

[注意]
● 給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの洗浄強さが弱くなることがあります。
● 便座には、深く腰掛けてください。
　深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
● 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
　※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
● 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

マイルド洗浄▶ワイド洗浄▶ワイド S 洗浄

ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを優しく洗浄します。



マイルド洗浄

● 【マイルド】を押す

● 止めるときは【止】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【ー】または【＋】を押す

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さは液晶部の洗浄強さ表示に表示されます。
※ 洗浄強さの感じ方には個人差があります。

洗浄モードを切り替えるとき

マイルド洗浄中に、
もう一度【マイルド】を押す

※ マイルド洗浄中、【マイルド】を押すたびにモードが切り替わります。
※ 洗浄を止め、もう一度【マイルド】を押すと「マイルド洗浄」から始まります。

マイルド洗浄 → **ワイド洗浄** → **ワイド S 洗浄** →（マイルド洗浄に戻る）

ワイド洗浄：ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。

ワイド S 洗浄：ノズルが前後に小刻みに動いて、ていねいに洗浄します。

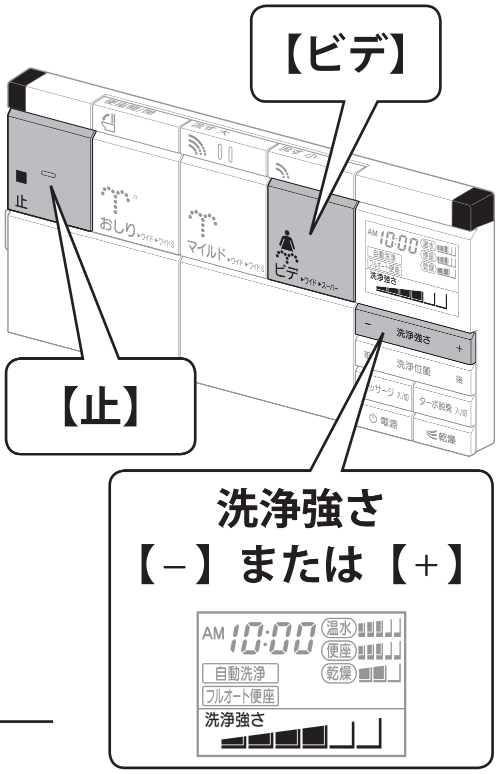
❖おしり洗浄は
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。ただし、洗浄中にマッサージ・ワイドなどの操作をするとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。

❖ノズルオートクリーニングについて
おしり・マイルド洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
便座に座ったり、シャワースイッチを押したときは、温水を出す準備のためにノズル付近から、しばらく水が出ます。また、冬期や寒い地域などは、温水が温まるまでに時間がかかります。
便座に座った直後や洗浄の前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。
（☞ 39 ページ）
ただし、温水温度「切」にしている場合は、便座に座った直後の排水はしません。

ビデ洗浄▶ワイド洗浄▶スーパーワイドビデ洗浄

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。



ビデ洗浄

●【ビデ】を押す

● 止めるときは【止】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの
【－】または【＋】を押す

※ 洗浄強さは 6 段階あります。お好みの強さに調節してください。
※ 洗浄強さは液晶部の洗浄強さ表示に表示されます。
※ 洗浄強さの感じ方には個人差があります。

洗浄モードを切り替えるとき

ビデ洗浄中に、もう一度【ビデ】を押す

※ 洗浄を止め、もう一度【ビデ】を押すと「ビデ洗浄」から始まります。

ビデ洗浄 → **ワイド洗浄** → **スーパーワイドビデ洗浄** →（ビデ洗浄に戻る）

- ワイド洗浄：ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。
- スーパーワイドビデ洗浄：ノズルが前後に動いて、ワイド洗浄より、さらに広い範囲を洗浄します。

[注意]
● 給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの洗浄強さが弱くなることがあります。
● 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
● 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
● 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

❖ビデ洗浄は
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。
ただし、洗浄中にワイドなどの操作をするとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。

❖ノズルオートクリーニングについて
ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

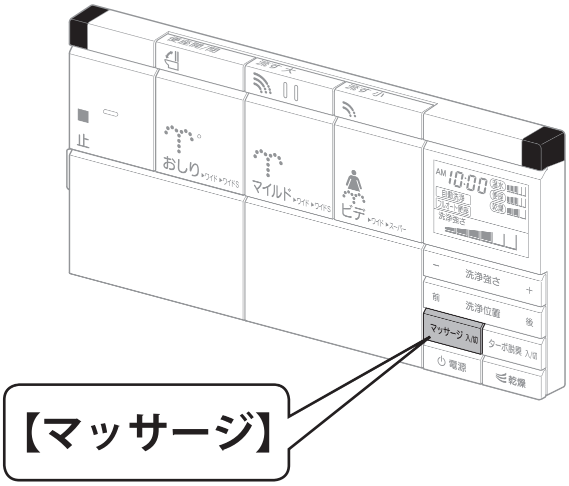
❖ノズル付近から出る水は
便座に座った直後や洗浄の前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。
(☞ 39 ページ)
ただし、温水温度「切」にしている場合は、便座に座った直後の排水はしません。

マッサージ洗浄

おしり・マイルド洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。
※ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。

● おしり・マイルド洗浄中に【マッサージ】を押す

● マッサージ洗浄を止めるときは、もう一度【マッサージ】を押す



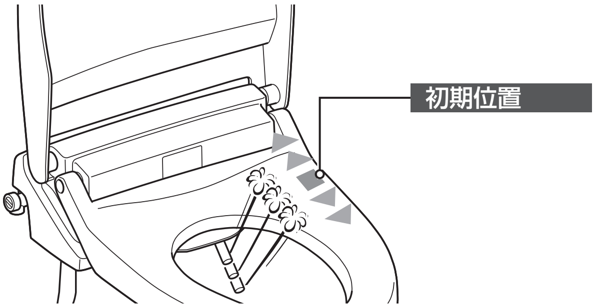
❖マッサージ洗浄は
マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

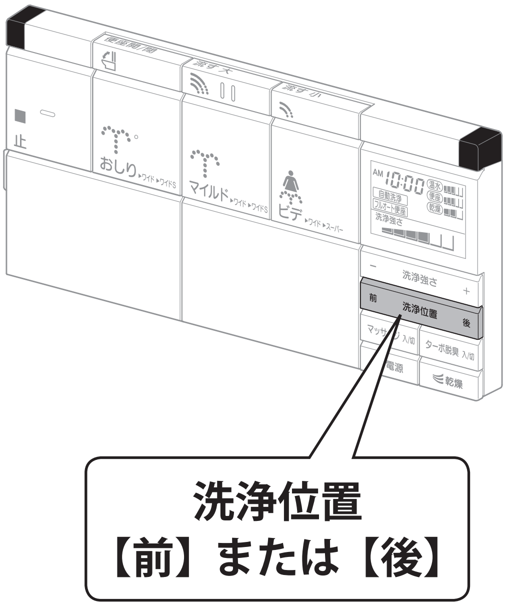
洗浄位置

おしり・マイルド洗浄・ビデ洗浄中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

● 洗浄位置の【前】または【後】を押す

※洗浄位置は 5 段階に調節することができます。
初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段階です。
※便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。





STEP 4 温風で乾かす

※この機能の付いていない機種があります。
5ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

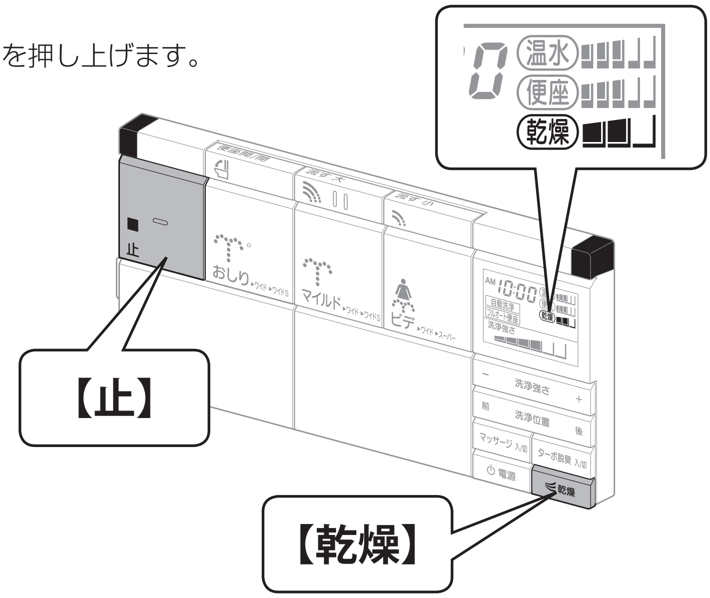
温風乾燥

温風が出て、シャワーでぬれた部分を乾燥します。
※温風乾燥作動時はビデノズルが出て、ノズルシャッターを押し上げます。

●【乾燥】を押す

※温風の温度は3段階に調節できます。
※乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

●止めるときは、【止】を押す



温風温度を変えるとき

温風乾燥中に、もう一度【乾燥】を押す

※スイッチを押すごとに「中」から「高」→「低」→「中」と温風温度が切り替わり、液晶部に表示されます。
※スイッチを押すたびに液晶表示が切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。
※乾燥を止めた後は、初めの設定に戻ります。

⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）
●洗浄後、トイレットペーパーでおしりの水滴を軽く取ってから【乾燥】を押せば、素早く乾燥できます。
●温風温度を「高」または「低」から始まるようにする「温風始動温度切替え」機能が付いています。（☞32ページ）

❖温風乾燥は
4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

STEP 5

便器を洗浄する

※この機能の付いていない機種があります。
　5 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

フルオート便器洗浄

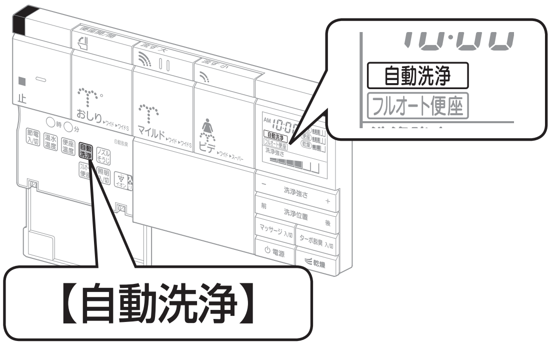
●【自動洗浄】を「入」にする

※液晶部に自動洗浄表示が表示されます。
※立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。

フルオート便器洗浄を使用しないとき

【自動洗浄】を「切」にする

※液晶部の自動洗浄表示が消えます。



[注意]
●フルオート便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
　※洗浄水が流れっ放しになります。

リモコン便器洗浄

大・小洗浄便器の場合

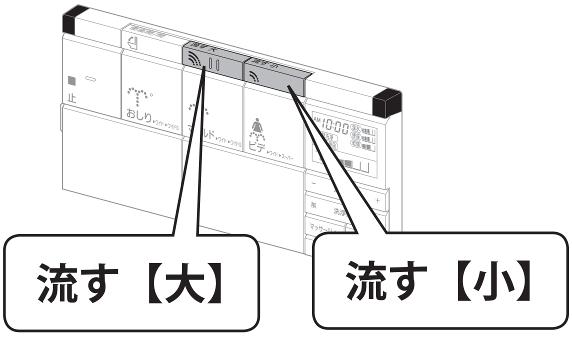
大便時は流す【大】を、
小便時は流す【小】を押す

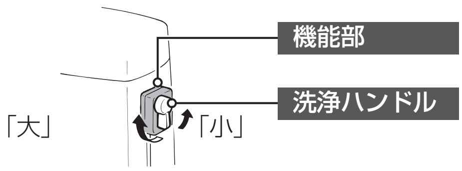
※大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。

大のみ洗浄便器の場合

大便時は流す【大】を押す

※機能部がロータンク部に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に手で保持している間だけ小洗浄が行えます。





[注意]
●女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、
　リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。

❖洗浄のタイミングは
フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 2 秒、約 10 秒、約 15 秒後に切り替えることができます。
(☞ 33 ページ)

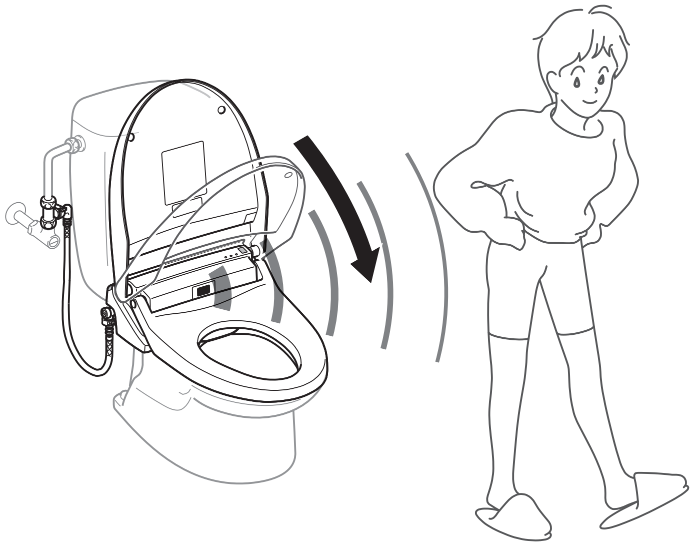
❖男性小用のときは
フルオート便座付の場合、男性小用のとき、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、立ち去って 1 秒後に小洗浄します。
(ただし、便器から立ち去る前に便座を下げるとフルオート便器洗浄をしません。)

❖大洗浄と小洗浄の区別は
フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上 : 大洗浄」･「50 秒未満 : 小洗浄」を行います。
(ただし 50 秒未満でもおしり・マイルド洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。)

STEP 6

便器から離れると便フタが閉じる

※この機能の付いていない機種があります。
5ページの「機能の紹介」にてご確認ください。



※便器から離れて約1分後に便フタが閉まります。フルオート便座が「切」の場合は閉じません。
※便フタを手で閉めた場合、約10秒間は人体検知センサーが働きません。人の退出時に便フタが繰り返し開かないようにするためです。
※「人体検知センサー（上）」が人の動き（熱の変化）を検知して、自動的に開閉します。
トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。

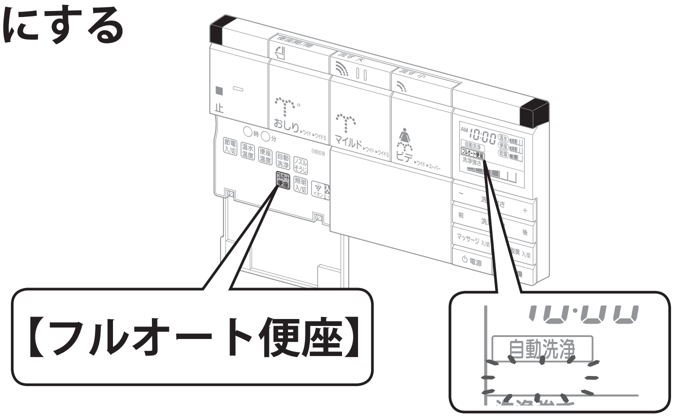
［注意］
●便フタや便座の作動中は手などで動きを止めたり、逆方向に動かしたりしないでください。
※便フタや便座の開閉機能が正常に動かなかったり、故障の原因になります。
※無理な力を加えた場合、安全機能が働きカチカチと音がすることがあります。

手動で便フタを開閉するとき

【フルオート便座】を押し、「切」にする

※液晶部のフルオート便座表示が消えます。

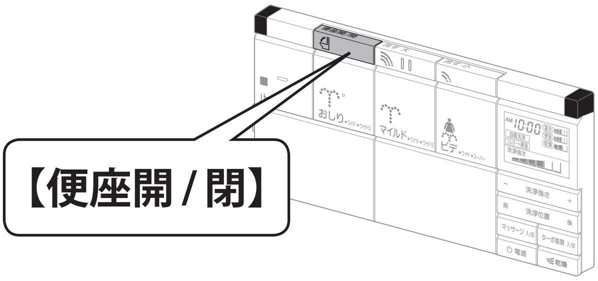
［注意］
●手で開閉するときは、強い力を加えず、軽く開閉してください。
※強い力を加えると、故障の原因になります。



リモコンで便座を閉じるとき

【便座開 / 閉】を押す

※【便座開 / 閉】を押すごとに開閉します。



節 電【ワンタッチ節電（8 時間）/ スーパー節電（常時)】

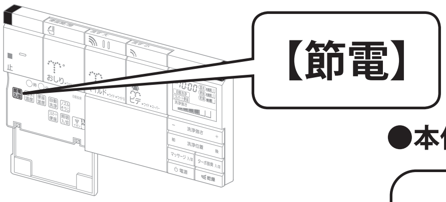
節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定したうえでさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

ワンタッチ節電（8 時間）

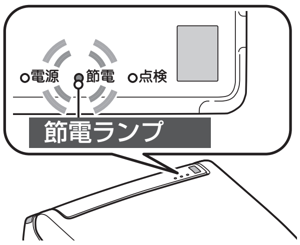
長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電機能です。
8 時間後は元の設定状態に戻し、24 時間ごと（毎日同じ時間から）に繰り返します。

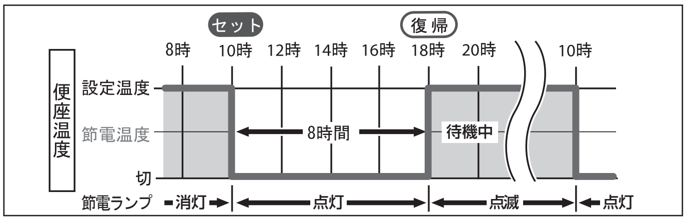
1 【節電】を押す

※本体表示部の節電ランプが点灯します。
※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。



●本体表示部





※ワンタッチ節電は 1 日に、何度でも設定できます。
※8 時間経過すると、自動的に機能は元の状態に戻り、節電ランプは点灯から点滅に切り替わります。

（参考）
●停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

ワンタッチ節電を解除するとき

【節電】を押す

※本体表示部の節電ランプが消灯します。
※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

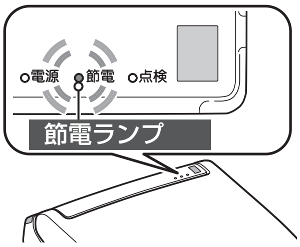
スーパー節電（常時)

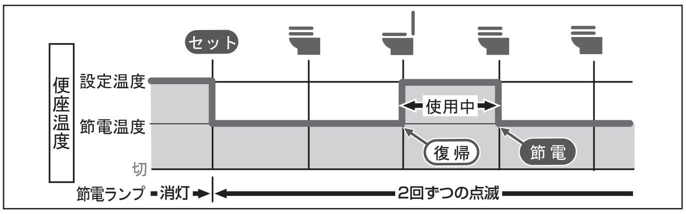
使用していないとき、便座の温度を下げて消費電力を抑える節電機能です。
※使用していないときは常に節電しています。

1 【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※本体表示部の節電ランプが点滅します。
※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。

●本体表示部





※ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8 時間）は本体の節電ランプが点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電ランプが 2 回ずつ点滅します。

スーパー節電を解除するとき

【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※本体表示部の節電ランプが消灯します。
※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

（参考）
●節電時は便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
●節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

ニオイを強力に取り除く【ターボ脱臭】

リモコンの【ターボ脱臭】を押すと、自動脱臭時より、さらに強力に便鉢のニオイを除去します。

1 自動脱臭作動中に、【ターボ脱臭】を押す

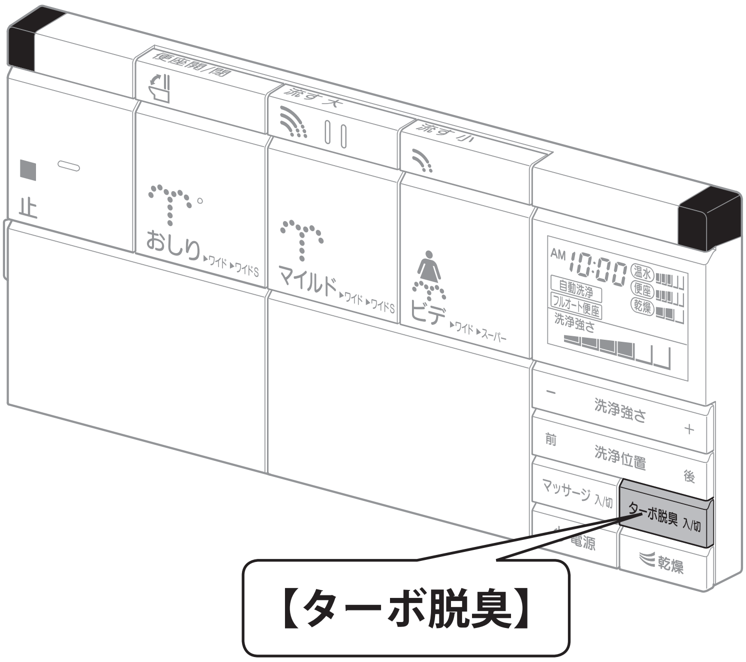
※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。

※脱臭ファンが「ターボモード」になり、便鉢内のニオイの除去機能が向上します。

2 ターボ脱臭を止めるときは、もう一度【ターボ脱臭】を押す

※セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

※「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。



（参考）
●脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

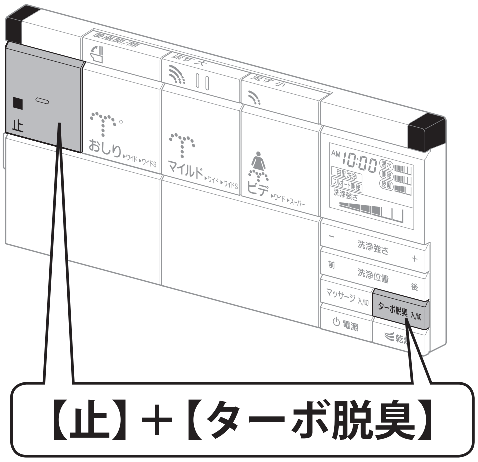
自動脱臭を常にターボモードにするとき

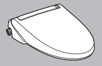
【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。

※脱臭時は、常に「ターボモード」で便鉢内のニオイを除去します。

※元の設定に戻すときは、もう一度、【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
（セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。）



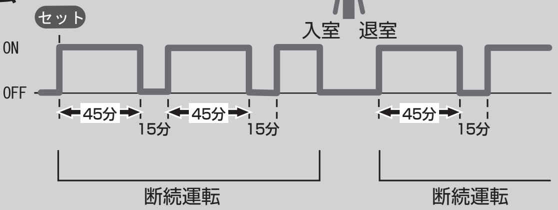


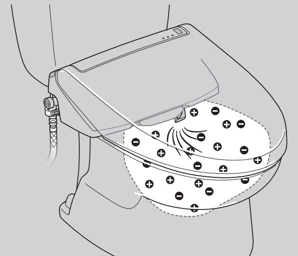
イオンで除菌【鉢内除菌※1】

※ この機能の付いていない機種があります。
5 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

プラズマクラスターイオン（プラスとマイナスの 2 つのイオン）がトイレの鉢内に行き渡り、水のかからない便座裏や、便器内の浮遊カビ菌※2 や付着菌を除菌※1。トイレのニオイの元となる「ニオイ原因菌」を除菌することでニオイの発生を抑えます。※3

■プラズマクラスターの動作方法





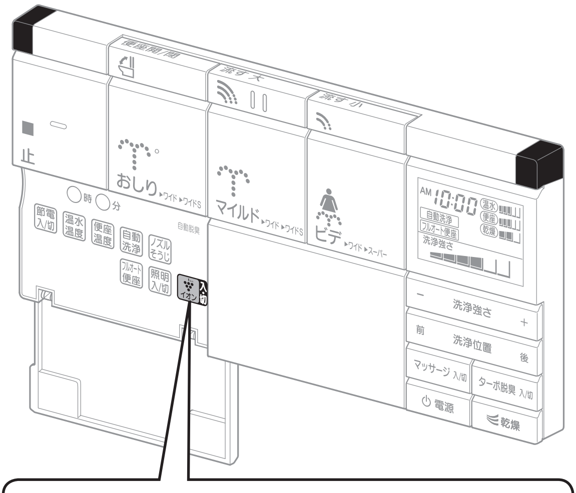
※ スイッチを押し自動で便フタを閉じると、断続運転を始めます。
※ プラズマクラスターセット時に人を検知すると、一時的にプラズマクラスターを停止します。
※ 退室後（便フタ閉後）は再び断続運転を始めます。

1 【プラズマクラスターイオン】を押す

※ 本体表示部のプラズマクラスターランプが点灯します。
※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。

※ 吹出口からイオンを放出して自動運転を開始します。

●本体表示部
着座センサー
人体検知センサー（下）



【プラズマクラスターイオン】

2 止めるときは、もう一度【プラズマクラスターイオン】を押す

※ 本体表示部のプラズマクラスターランプが消灯します。
※ セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

（参考）

- ●プラズマクラスター動作時には送風の音がします。
- ●イオン発生器で発生するオゾンのニオイがすることがありますが、濃度はごくわずかで、健康上問題ありません。
- ●イオンの効果を発揮するために、便フタを閉じた状態にする必要があります。
- ●使用する際はフルオート便座を「入」にするか〈フルオート便座付の場合〉、便フタを手動で閉じてください。
- ●便フタを取り外して使用するとプラズマクラスターは動作しません。

※ 1. 試験機関：（財）日本食品分析センター
試験方法： 約 0.009m^3 の試験空間にて菌を試験片に付着させプラズマクラスターイオンを放出。その後、試験空間内の試験片を回収し、2 日間培養後、菌の除去率を算出。
試験結果： 40 時間で除去率 99% 以上
試験成績書発行番号：第 12086808001-01 号
効果効能： 実使用空間での実証結果ではありません。使用・環境条件（温度・湿度）によっては効果が異なります。鉢内除菌は付着菌を除去するもので、清掃不要になるものではありません。

※ 2. 試験機関：（財）石川県予防医学協会
試験方法： 8 畳相当の実験室にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌をエアーサンプラーにて測定。（プラズマクラスターイオン濃度：3,000 個 /cm^3）
試験結果： 約 195 分で除去率 99.0%

※ 3. ニオイの種類・強さなどによって、ニオイ除去効果は異なります。

便利な使い方

足元を明るく【ほのかライト】

※ この機能の付いていない機種があります。
5 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

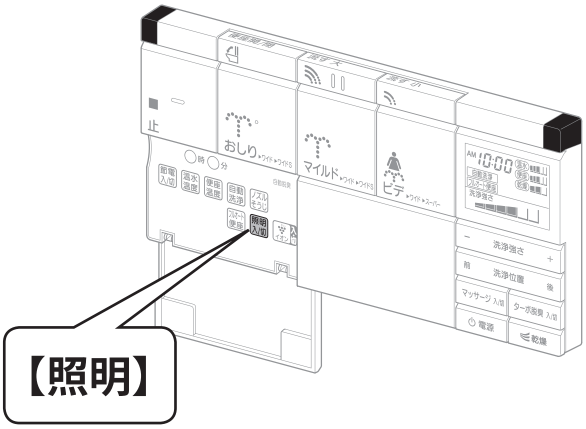
人を検知すると、足元と便鉢内をほのかに照らします。人が便器から離れると、自動的に消灯します。
お買い上げ時は、「入」の状態になっています。

1 **ほのかライトを消すときは、【照明】を押す**

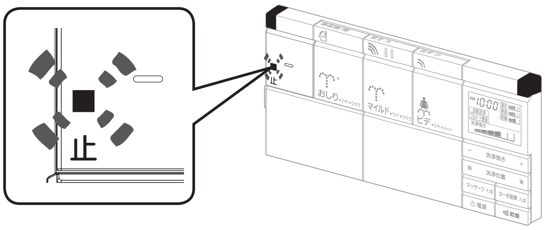
※ セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

2 **ほのかライトを点灯するときは、もう一度【照明】を押す**

※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。



（参考）
- 補助灯なので、トイレの主照明は必ず設置してください。
- ほのかライト点灯中は、便器底部に影ができて汚れに見える場合があります。ほのかライトを消して確認してください。
（それでも気になる場合は、下記の「便鉢内のライトを常時消したいとき」の操作を行ってください。）

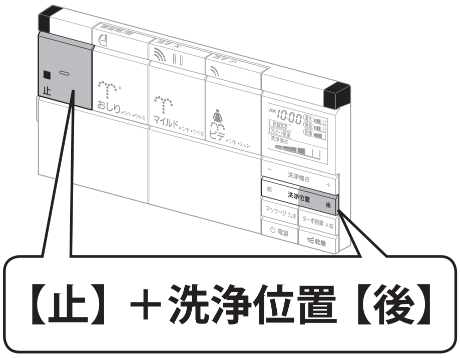


※「入」の場合、リモコンの【止】の表示ランプが橙色に点滅します。

便鉢内のライトを常時消したいとき

【止】と洗浄位置【後】を同じタイミングで 2 秒以上押す

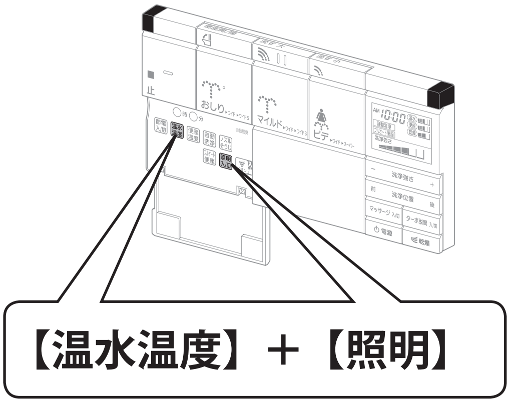
※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。
※ 元の設定に戻すときは、もう一度、【止】と洗浄位置【後】を同じタイミングで 2 秒以上押します。
（セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。）



リモコン【止】の点滅を消すとき

【温水温度】と【照明】を同じタイミングで 2 秒以上押す

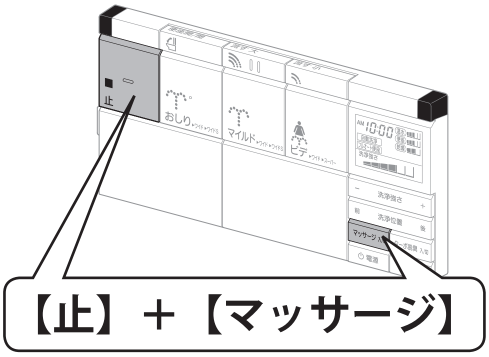
※ 元の設定に戻すときは、もう一度、【温水温度】と【照明】を同じタイミングで 2 秒以上押します。



低温ヤケドを防ぐ（便座ヒーターオート OFF）

便座を暖めているとき（便座ヒーター入）に座ると、自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。お買い上げ時は設定されていません。

【止】と【マッサージ】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。



※ この機能を使用中に連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。
※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

元の設定に戻すとき

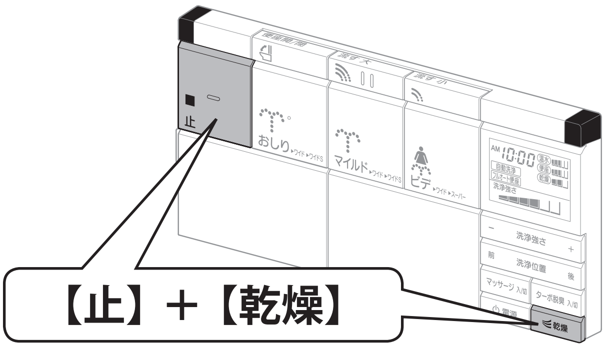
【止】と【マッサージ】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。

温風乾燥の始めの温度を変える〈温風乾燥付の場合〉

温風温度を「高」または「低」から始まるようにすることができます。お買い上げ時は「中」に設定されています。

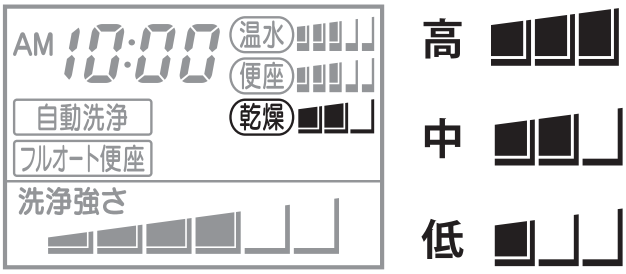
【止】と【乾燥】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。



※ 乾燥始動時の温風温度が順次切り替わります。
（液晶表示も順次切り替わります。）

〈液晶部〉



※ 切替え順は下図のとおりです。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度の切替わり方 1回目	2回目	3回目
お買い上げ時の設定	中	→ 高	→ 低	→ 中
1度目	低	→ 中	→ 高	→ 低
2度目	高	→ 中	→ 低	→ 高

元の設定に戻すとき

【止】と【乾燥】を同じタイミングで 2 秒以上押す操作を乾燥始動時の温度が「中」になるまで繰り返す

※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。

⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

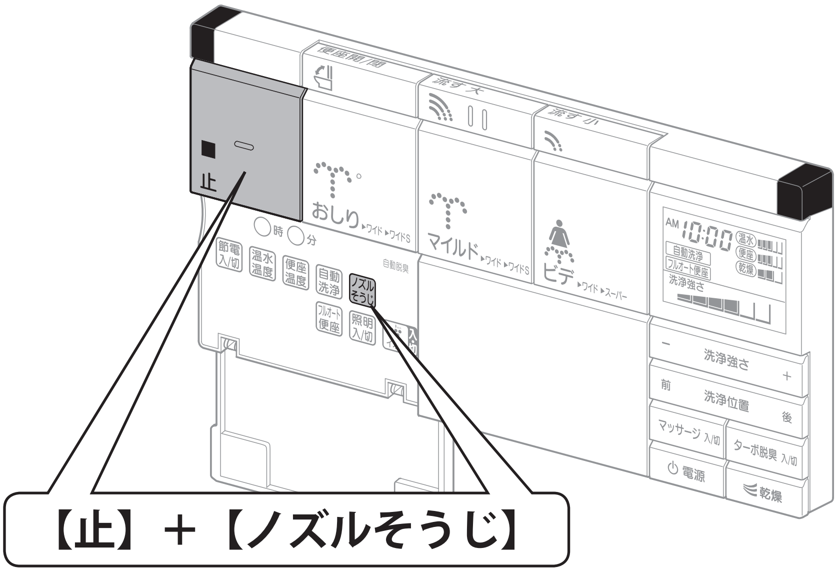
※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

便器洗浄の開始時間を変更する〈フルオート便器洗浄の場合〉

フルオート便器洗浄は、立ち上がってから約 6 秒後に、自動的に便器洗浄を開始する機能です。この開始時間を切り替えることができます。お好みに合わせて切り替えてください。お買い上げ時は、約 6 秒後に設定されています。

【止】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。
※ 初期設定に戻ると、「ピー」という音が鳴ります。



同じ操作をするたびに、開始時間が、6 秒→ 10 秒→ 15 秒→ 2 秒→ 6 秒…の順に切り替わります。（下図参照）

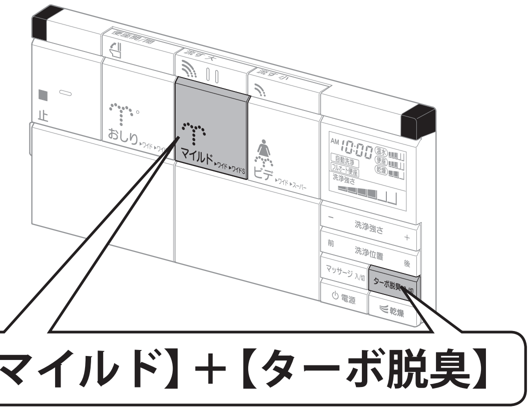
初期設定

6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒 →（6 秒に戻る）

リモコン操作音を消す

操作時になるリモコン操作音を消すことができます。リモコン受信音、フルオート便座作動時の音なども出なくなります。
お買い上げ時は、リモコン操作音「入」に設定されています。

【マイルド】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押す



元の設定に戻すとき

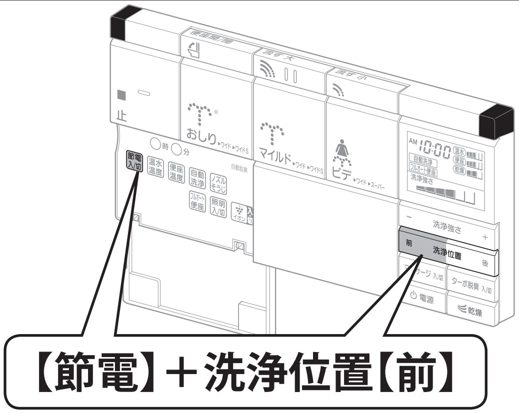
【マイルド】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押す
※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります。



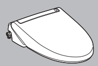
■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
	脱臭モード	通常モード
節電	節電	切
	スーパー節電	切
温水温度		低
便座温度		低
フルオート便座		入
便座ヒーターオート OFF		切
温風乾燥	温風始動温度	中
フルオート便器洗浄		入
		立ち上がってから 6 秒後に開始
ほのかライト		入（リモコンの「止」スイッチ点滅）
リモコン操作音		入

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」などで設定を変更した場合、コンセントを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。（ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 27 ページ）



知っておいていただきたいこと

便座の温度は一定に調節しています。

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

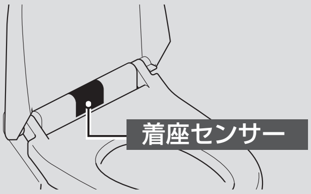
切 (室温)、低（約 28℃）～高（約 36℃）

冬期のシャワーは。

給水温度が極めて低い冬期など、シャワーの強さが多少弱くなったり、シャワーが出るまでの時間が長くなることがあります。

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。

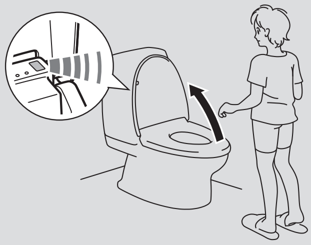


※便座に座らないと［おしり・マイルド洗浄］、［ビデ洗浄］、［温風乾燥（温風乾燥付の場合）］の各機能が作動しません。
※便座に便座カバー・便フタカバーを付けた場合、不適切なカバーをご使用になると着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。

着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。
●前にかがんだり、前寄りに座った場合
（特に幼児や児童などの身長が低い方がご使用の場合）
※便座に深めに座るなど、座り方を変えてみてください。
●黒色や毛羽立った生地などの光が反射しにくい衣類を着ている場合
※肌を検知させるようにしてください。
●センサーに汚れや水滴などが付着している場合
※汚れや水滴などを取り除いてください。

人体検知センサーが付いていて手を使わず開けられます。〈フルオート便座付の場合〉

人が入室したことを検知して、便フタを自動的に開閉するための「人体検知センサー（上）」が付いています。



人体検知センサー（上）は熱の変化（人の動き）を検知しています。
夏場など、室温が 30℃を超えると、人と周囲の温度差が少ないのでセンサーが検知できないことがあります。便器の前で体を動かしてください。

※便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。
※人体検知センサー部が汚れていると、正常に作動しない場合があります。このような場合はセンサー部を柔らかく、きれいな布でふいてください。
※太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。
太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように［スローダウン機構］が装備されています。

〈フルオート便座付の場合〉
電源 OFF 時は、スローダウンしません。

※強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

電池消耗お知らせサインが付いています。

リモコンの「電池マーク」点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。
(☞ 60 ページ)

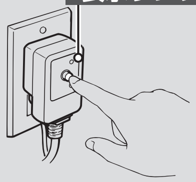
※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）
※ トイレのドアを開けたままや「電池マーク」点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

漏電が起こるとランプが点灯し、電気を遮断します。

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「表示ランプ」を点灯させます。また、電源プラグに水がかかると「表示ランプ」が点灯する場合があります。

表示ランプが点灯したときは

① 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒程度時間をあけて再び差し込みます。
②「リセットボタン」を押してランプを消灯させます。



※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または、LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

初めて使う時は水路内の空気を抜きます。

初めてお使いいただく時や、凍結防止の水抜き処理をされた後にお使いいただく時は、水回路内部の空気を抜きます。
着座すると約 30 秒間、ノズル付近から水が出ます。

こんなときは

ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

※上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

使い始めに温風がにおう。〈温風乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少しにおうことがありますが、故障ではありません。
ご使用とともに消えていきます。

省エネのために。

- ●使用後は便フタを閉じる
- ●便座カバーを取り付ける
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にしない
- ●季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
- ●節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
- ●長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る

※便座カバーは、こまめに洗濯して清潔さを保ってください。
※凍結の恐れがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。
（☞ 40 ページ）

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

使う洗剤は？

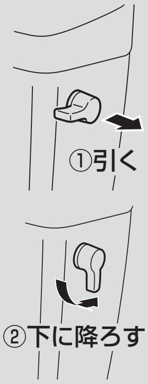
便座や便フタなどのプラスチック部のお手入れには、プラスチックに害のない洗剤を使用してください。
また、便器部（陶器）のお手入れには、塩素系・酸性洗剤・消毒剤を使用しないでください。

洗浄ハンドルが途中で止まったら。〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れっ放しになってしまいますので、以下の手順に従って洗浄ハンドルを元に戻してください。

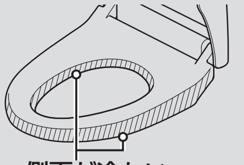
(1) 洗浄ハンドルを引っぱりながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。
このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。

(2) 停電が終わりましたら、リモコンの流す【大】を押して作動させます。本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。



便座の側面が冷たい。

便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。



小用時には。

- ●洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- ●着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

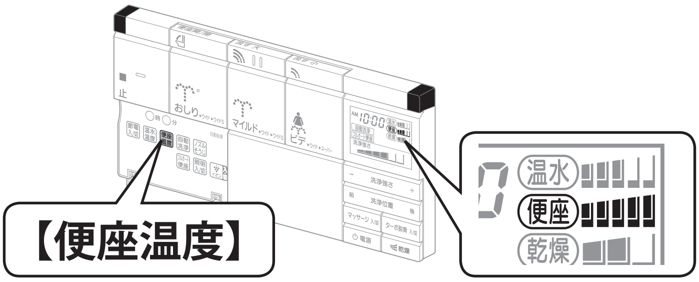
凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
（電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。）

室内を暖房できる場合：	「一般的な凍結防止方法」をご確認ください。
室内を暖房できない場合：	「間欠流動方式による凍結防止方法」をご確認ください。
ロータンク・便器の凍結防止は	「水抜栓による凍結防止方法」または 「流動式便器の凍結防止方法」をご確認ください。

一般的な凍結防止方法

1【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 27 ページ）
3 室内を暖房する



⚠注意

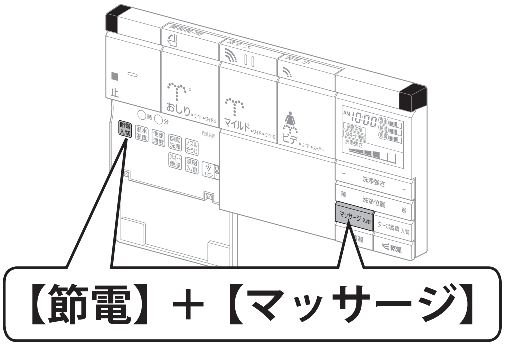
指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

間欠流動方式による凍結防止方法

1【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる
2 節電を解除する（☞ 27 ページ）
3【節電】と【マッサージ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、「ピッ」という音がなります。
※ 使用されていない間、5 分ごとに約 300cc の水を排出し凍結を防ぎます。
※ 着座中は水の排出は行われません。



間欠流動を解除するとき

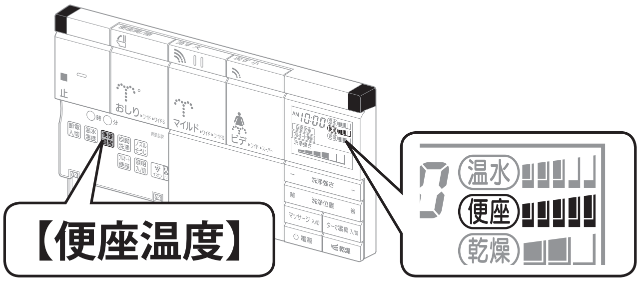
【節電】と【マッサージ】を
同じタイミングで 2 秒以上押す

※ 解除完了時、「ピー」という音が鳴ります。

凍結しそうなときは

水抜栓による凍結防止方法

1【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる



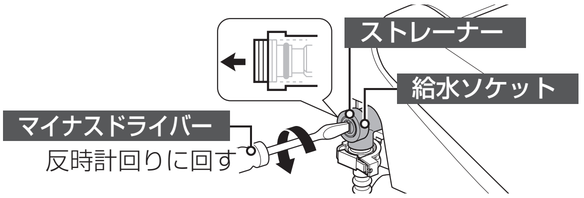
2 節電を解除する（☞ 27 ページ）

3 水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

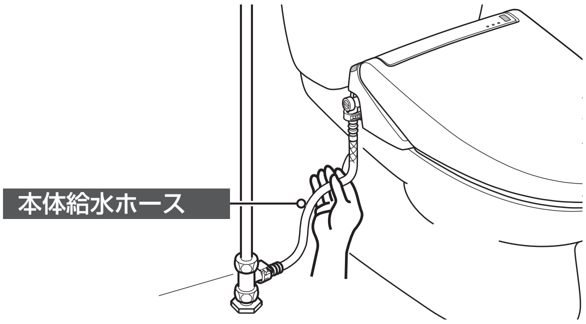
4 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

5 本体給水ホースから水を抜く

① ストレーナーの下に洗面器などを置く
② 給水ソケットを手で支えながら、工具で反時計回りに回して、ストレーナーを外し、ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



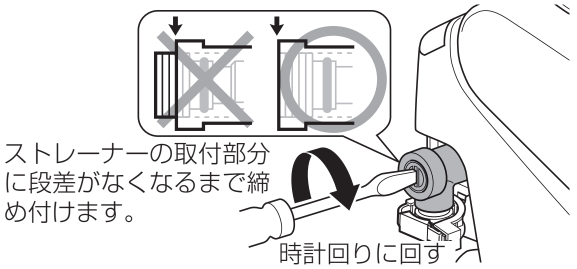
③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜く



6【ノズルそうじ】と【マッサージ】を 同じタイミングで 2 秒以上押す

※本体内の残水が便鉢に排出されます。

7 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける



8〈ヒーター付便器の場合〉
ヒーター付便器を暖める
〈ヒーター付便器でない場合〉
便器鉢内のため水をくみ出し、不凍液を入れる

※ため水をくみ出しただけでは、配水管から臭気が上がってきます。

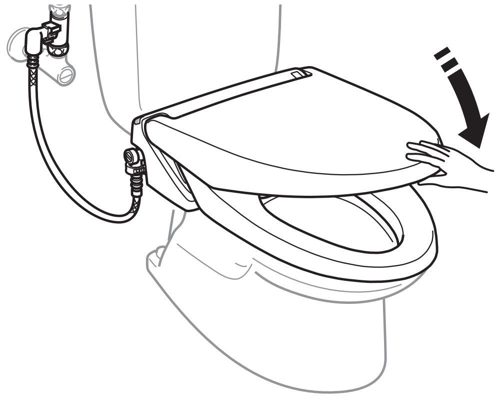
■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

[注意]
- 給水ホースに熱湯や熱風を掛けないでください。
  ※給水ホースが破損する恐れがあります。
- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

流動式便器の凍結防止方法

1【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる



2 節電を解除する（☞ 27 ページ）

3 便器本体の流動ハンドルを操作する

※ ロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。
詳しくは、便器の取扱説明書をご覧ください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

[注意]
- 給水ホースに熱湯や熱風を掛けないでください。
  ※ 給水ホースが破損する恐れがあります。
- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

お掃除・お手入れ

お手入れの効果を正しくあげるため、汚れや場所にあった洗剤、道具を使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはお勧めの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種　類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したＴシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
ゴム手袋	手アレ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	－
歯ブラシ	隠れた部分や細かいところに大活躍。使い古しのものを。	脱臭カートリッジ
プラスチック消しゴム	さらっと便座の汚れ落としに便利です。 ※砂消しゴムはキズが付く原因となりますので、使用しないでください。	さらっと便座

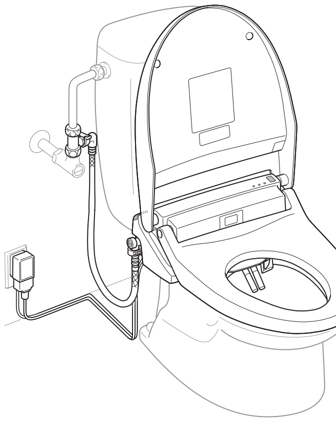
LIXIL のお掃除グッズ

種　類		使う場所
トイレ用お掃除ティッシュ〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹き掛けふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ カバー類・便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー	45 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	47 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	



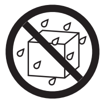
ノズルシャッター	53 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	54 ページ
水アカ・小水のシミ	

便器
便器の取扱説明書をご覧ください。

[注意]
● お掃除･お手入れをするときは、リモコンの【自動洗浄】〈フルオート便器洗浄付の場合〉を「切」、【フルオート便座】〈フルオート便座付の場合〉を「切」にして行ってください。
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れたり、便座・便フタが閉じたりします。

⚠警告


水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

⚠注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

□お掃除・お手入れ方法

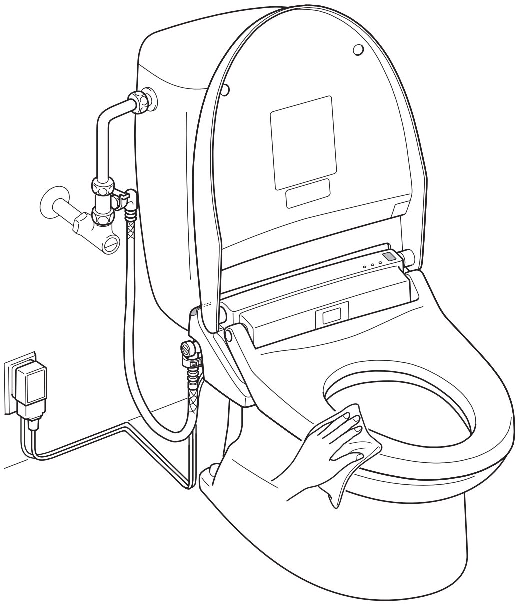
○お掃除・お手入れ ……………………43
○便座・便フタのお掃除 ………………45
○便フタを外して掃除する ……………47
○隠れた部分のお掃除【お掃除リフトアップ】…49
○シャワートイレを取り外す【本体スライド着脱】…51
○ノズルシャッターを清潔に …………53
○ノズル・温風乾燥ダクトのお掃除 …54
○ノズルの先端を取り替えたい ………56
○脱臭効果が弱くなったら ……………58
○シャワーが弱くなったら ……………59
○リモコンの電池マークが点滅したら…60
○電源プラグ（漏電保護機能付）の点検…61
○定期的な点検のお願い ………………62
○長期間使用しないときは ……………63
○引越しなどで本体を移設するときは…64

便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除

● **柔らかい布で水ぶきをしてください。**

● **お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をお勧めします。****（☞ 83 ページ）**



水ぶきするのはなぜ？

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をお勧めします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。
ご不明な点は、洗剤メーカーに確認してからご使用ください。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 84 ページ）をご覧ください。

[注意]
● 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
※キズが付く原因になります。

すき間もお掃除がしたい

本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 49 ページ）
便フタを簡単に外せます。（☞ 47 ページ）

❖抗菌部位について
ノズル・便座・便フタ・カバー・リモコン操作部に抗菌プラスチックを、リモコン副操作部のスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

❖キレイ便座について
キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

❖ KILAMIC 抗菌商品について
● KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
● KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌がまったくなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
● 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

さらっと便座をお使いのお客さまへ

当社純正の「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品：CWA-20）をお勧めします。（☞ 83 ページ）

なぜお掃除クリーナー？

お掃除クリーナーなら、シュッと吹き掛けて
ふきとるだけなので、プラスチックを傷めません。
※「シャワートイレお掃除クリーナー（CWA-20）」のお求めは 84 ページをご覧ください。

プラスチック消しゴムも効果的！

ただし砂消しゴムは使用しないでください。
※ キズが付く原因になります。

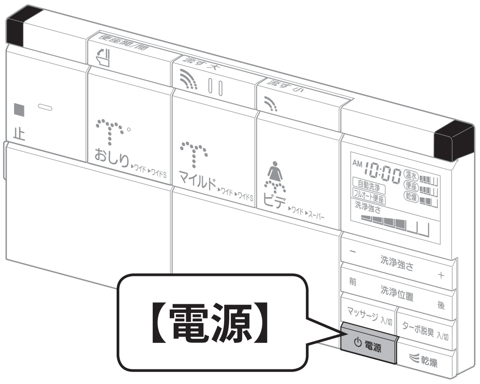
❖さらっと便座について
さらっと便座は、通常の便座に比べ、立ち上がるときのはりつく感じが少なく、さらさらした肌触りの便座です。
通常の便座と比べると表面がマット調（つや消し）になります。

便フタを外して掃除する

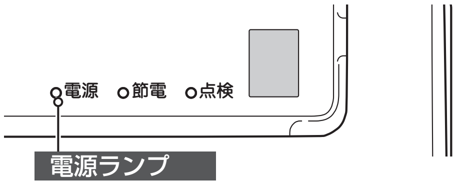
便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを掃除するのに便利です。

便フタの取外し

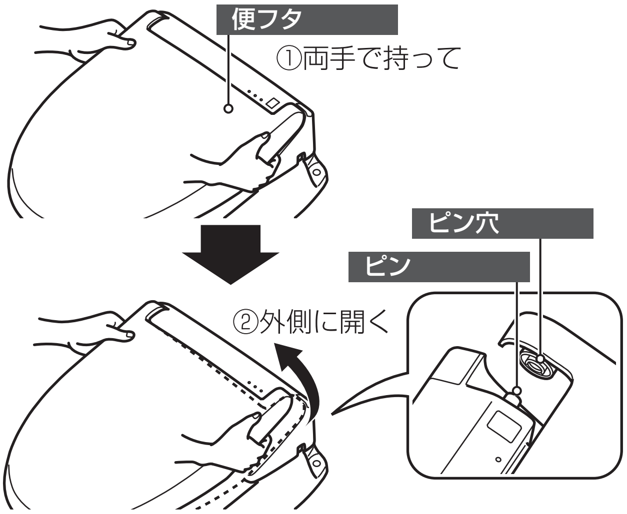
1 【電源】を押して「切」にし、本体表示部のの電源ランプの消灯を確認する



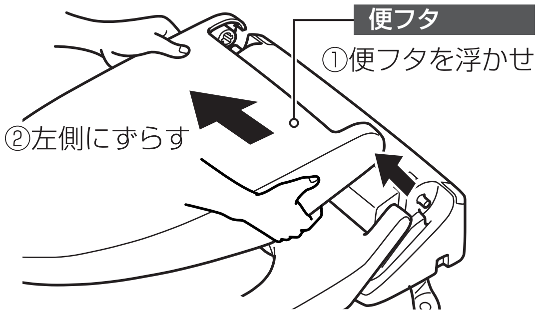
●**本体表示部**



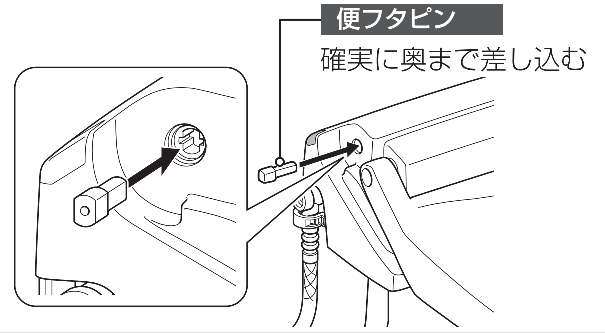
2 便フタを閉じた状態で両手で持ち、右側を外側に開くように上げて、ピンからピン穴を外す



3 便フタを浮かせて左側にずらす



［注意］
- ●便フタを外すときは必ず電源を「切」にしてください。
  ※内部部品が破損する恐れがあります。
- ●便フタに無理な力を加えないでください。
  ※破損する恐れがあります。
- ●便フタを無理な力で外すと、ピンが斜めになり、便フタがうまく取り付けられなくなる可能性があります。
- ●便フタを外した状態で便座を開かないでください。
  ※カバーや便座にキズが付いたり破損する恐れがあります。
- ●便フタを外したまま使用しないでください。
- ●便フタを外すと、左側の便フタピンが本体から抜けることがあります。この場合は、シャワートイレ本体の穴に、便フタピンを確実に奥まで差し込んでください。
  ※確実に差し込まないと、便フタの取付けができません。

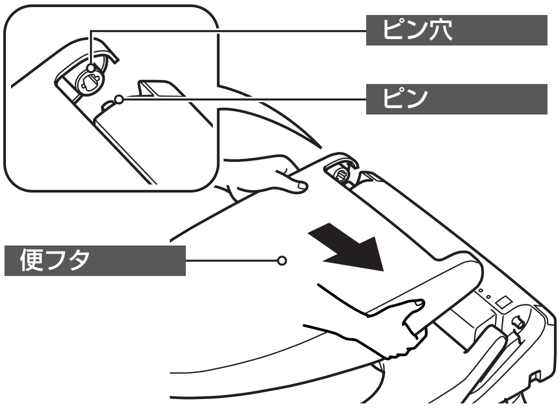


※便フタピンには向きがあるため、穴の向きと合うように調整しながら差し込んでください。

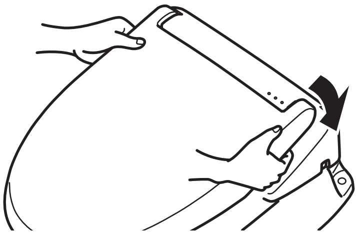
お掃除・お手入れ方法

便フタの組付け

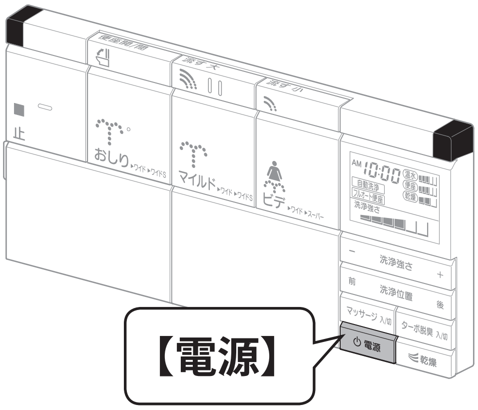
1 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む



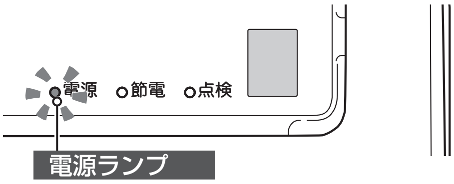
2 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付ける



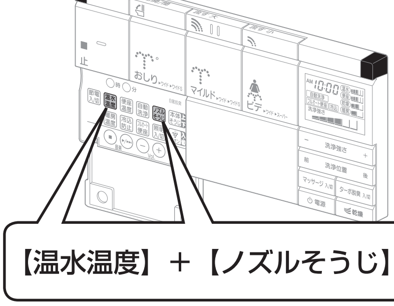
3【電源】を押して「入」にし、本体表示部のの電源ランプの点灯を確認する



●本体表示部



- 便フタがうまく取り付けられないときは、以下の操作でピンを回転させてください。（EA14 型、EA13 型のみ）
  ①【電源】を「入」にして、便座が閉じていることを確認する
  ②【温水温度】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す
  ※ この操作後、3 分間はフルオート便座機能が動作しません。

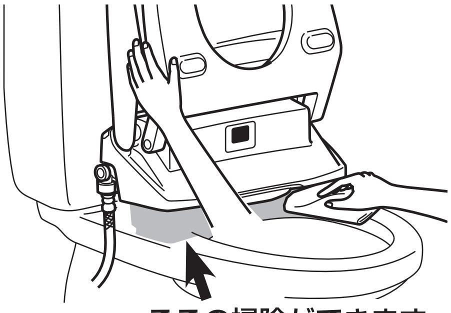


  ③ 便フタを組み付ける
  ④【便座開 / 閉】を押して、便フタ・便座が上がることを確認する
  ※ 便フタピンをペンチなどで無理に回転させないでください。

隠れた部分のお掃除【お掃除リフトアップ】

簡単に本体を浮かせて、便器と本体の間が掃除できます。
日頃の汚れを手軽に掃除したいときに便利です。

※ 分岐金具と本体の給水接続が接続銅管の場合は、本体を外して掃除することはできません。



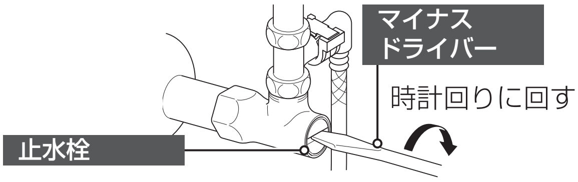
本体の浮かせかた

1【電源】を押して「切」にし、本体表示部の電源ランプの消灯を確認する

[注意]
- 電源を切ってからリフトアップしてください。
  ※ 故障の原因になります。

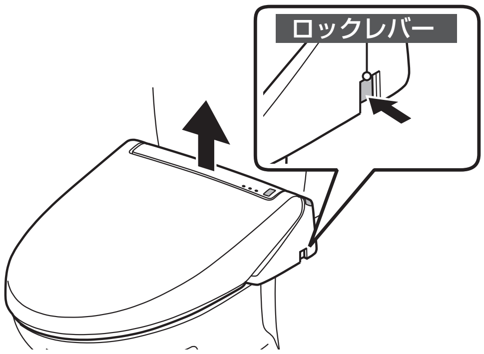
2 止水栓を閉めて給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



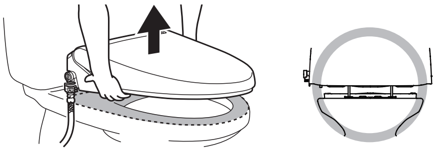
3 便座・便フタを閉じる

4 右手でロックレバーを押す



5 レバーを押しながら、本体を静かに持ち上げる

※ 本体は約 4cm 持ち上がります。
※ 本体が水平に安定することを確認してください。



[注意]
- 無理に持ち上げないでください。
  ※ 故障の原因になります。
- 本体を浮かせたまま使用しないでください。
  ※ 故障の原因になります。
- 操作はゆっくり行ってください。
- 無理な姿勢で持ち上げないでください。

6 便座を開き、手で支えながら、便器と本体の間を掃除する

[注意]
- 本体を上から押さえると降りてくる可能性があります。
  ※ ケガをする恐れがあります。

（参考）
- 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（☞ 53 ページ）をご覧ください。
  ※ 故障の原因になります。

隠れた部分のお掃除

シャワートイレ本体の掃除は・・・

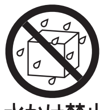
● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

● お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をお勧めします。（☞ 83 ページ）

便器部の掃除は・・・

● 便器の取扱説明書に従ってください。

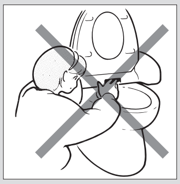
⚠警告



水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤を掛けない。
※ 感電・火災の原因になります。

[注意]
● 便器を掃除しているとき、洗剤が本体に掛からないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付けてください。
　※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
● 開口部やノズル付近に手や物を入れないでください。
　※ 手をケガしたり、故障の原因になります。

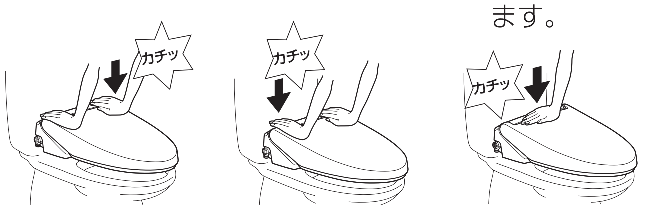


本体の戻しかた

1 便座・便フタをゆっくり閉じる

2 本体を下記の手順で真下に降ろす

① 本体右後部を上から押します。　② 本体左後部を上から押します。　③ 本体中央後部を上から押します。



[注意]
● 便座・便フタを上から押さないようにしてください。
　※ シャワートイレ本体、陶器部の破損や転倒によるケガの原因になります。
● 本体を降ろすときに、指を挟まないようにしてください。
　※ ケガをする恐れがあります。
● 斜めに本体を降ろすとロックがかからない場合があります。

3 止水栓を元の位置まで開く

4【電源】を押して「入」にし、本体表示部の電源ランプの点灯を確認する

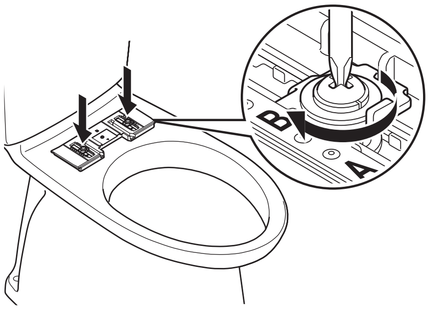
■ 再び使用するとき
　必ずご使用前の準備と確認を行ってください。（☞ 13 ページ）

[注意]
● 本体が確実に固定されていることを確認してください。
　※ 固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。
● ホース類を無理に曲げないでください。
　※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

■ 本体を押しても、ロックが掛からないときは

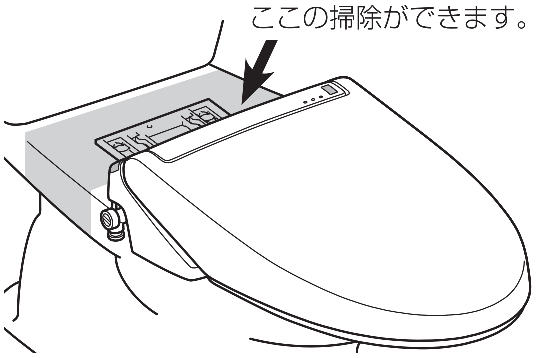
本体着脱プレートの固定ボルトが緩んでいると、ロックが掛からず本体がリフトアップする場合があります。
下記の手順で、固定ボルトをしっかりと固定してください。

■ 本体着脱プレート固定方法
1. 本体をスライド着脱で便器から外します。（☞ 51 ページ）
2. プラスドライバーを使って、本体着脱プレート内にある 2 本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
　※ 本体着脱プレートが下に降りている状態で、固定ボルトの締付けを行ってください。
3. 本体を元に戻します。



シャワートイレを取り外す【本体スライド着脱】

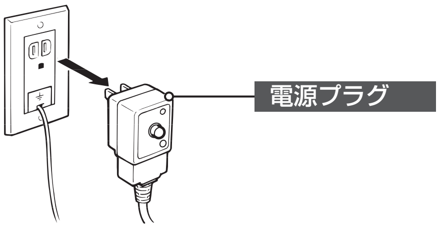
本体を外して便器全体や本体裏側の掃除ができます。
細かいところまで、しっかり掃除したいときに便利です。



※ 分岐金具と本体の給水接続が接続銅管の場合は、本体を外して掃除することはできません。

本体の取外し

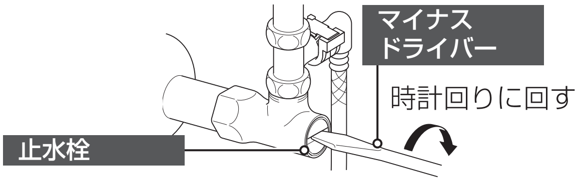
1 電源プラグをコンセントから抜く



[注意]
- 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
  ※ 故障の原因になります。

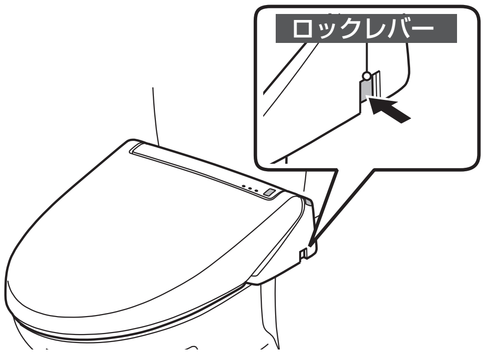
2 止水栓を閉めて給水を止める

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



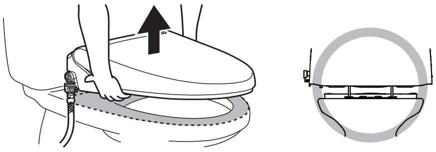
3 便座・便フタを閉じる

4 右手でロックレバーを押す



5 レバーを押しながら、本体を静かに持ち上げる

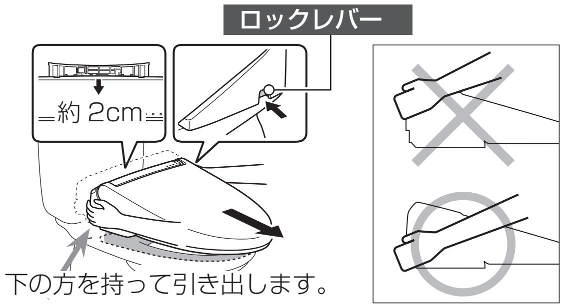
※ 本体は約 4cm 持ち上がります。
※ 本体が水平に安定することを確認してください。



[注意]
- 無理に持ち上げないでください。
  ※ 故障の原因になります。
- 本体を浮かせたまま使用しないでください。
  ※ 故障の原因になります。
- 操作はゆっくり行ってください。
- 無理な姿勢で持ち上げないでください。

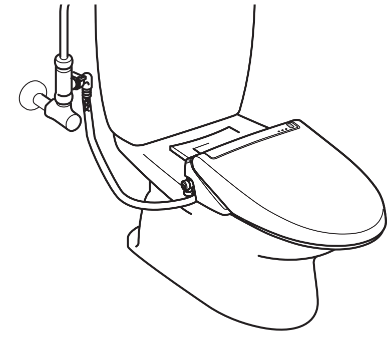
6 ロックレバーを押しながら、手前にスライドさせる

※ 左右交互に引っ張るようにして、ゆっくりと取り外します。



本体の取外し（つづき）

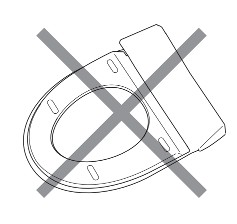
7 本体を便器リム部に静かに置く



[注意]
- コード類や本体給水ホースを引っ張らないでください。
  ※破損や漏水の恐れがあります。
- 本体の取外時や掃除時には、ていねいに扱ってください。
  ※漏水・故障の原因となります。
- 本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。
  ※故障の原因になります。

● 引っ張らないで！

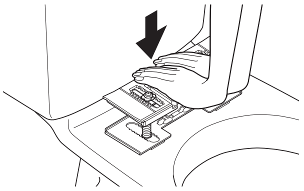
● 電源を入れたまま裏返さないで！

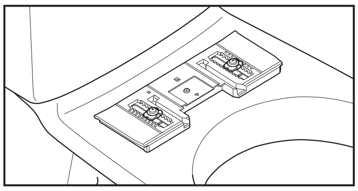


本体の組付け

1 浮いている本体着脱プレートを押し下げる

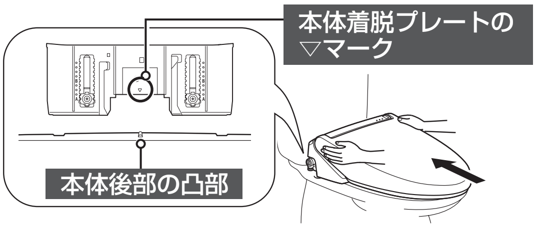
[注意]
- 本体着脱プレートを降ろすときに、手を挟み込まないようにしてください。





2 本体を取り付ける

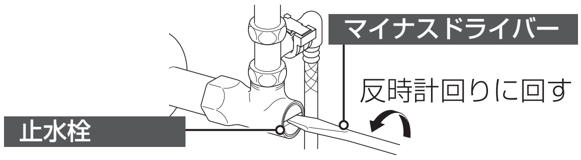
① シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの▽マークと本体後部にある凸部を合わせる



② 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで奥にゆっくりスライドさせる
※カチッと音がなるまでしっかりと押し込んでください。
固定後、本体を軽く前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認する

3 止水栓を元の位置まで開く

各部に漏水がないことを確認してください。



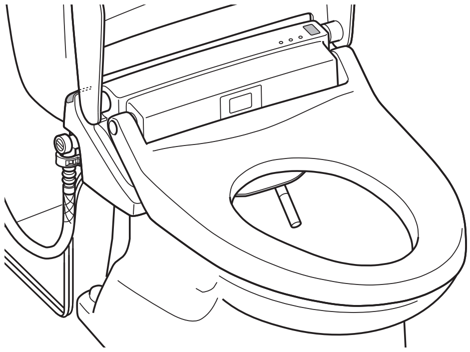
4 電源プラグをコンセントに差し込む

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

[注意]
- 本体が確実に固定されていること（本体のロックレバーが確実に奥まで入っていること）を確認してください。
  ※固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。
- ホース類を無理に曲げないでください。
  ※つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

ノズルシャッターを清潔に

● 柔らかい布で水ぶきしてください。



[注意]
- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
- 歯ブラシでこすらないでください。
  ※ キズが付く原因になります。
- 研磨材入りの洗剤やブラシを使用しないでください。
  ※ プラスガードの効果が早くなくなります。

ノズルシャッターを取り外し、掃除することができます。

ノズルシャッターの取外し

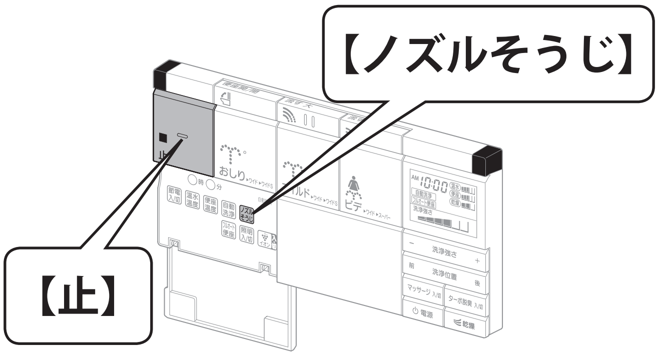
1 【自動洗浄】と【フルオート便座】〈フルオート便器洗浄付、フルオート便座付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

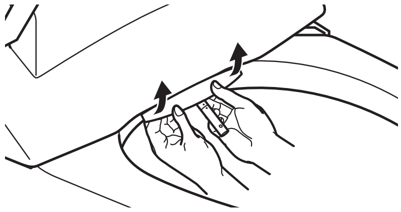
2 便フタ・便座を開く

3 【ノズルそうじ】を押し、ノズルを出す

※ おしりノズルが伸び出て、ノズルシャッターを押し上げます。



4 ノズルシャッターを両手で斜め上に引っ張り、取り外す



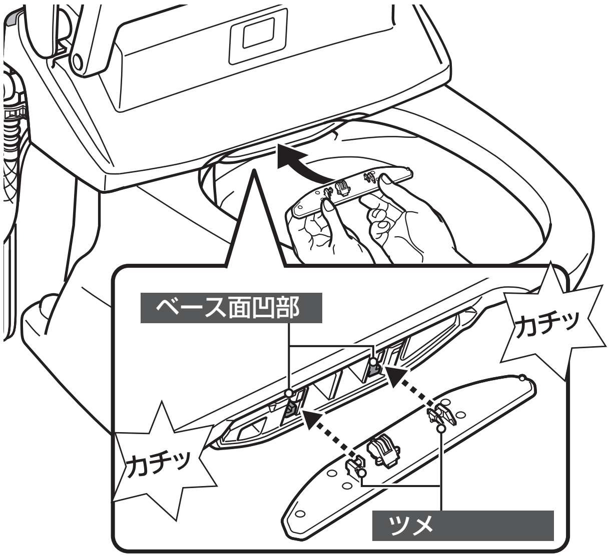
5 【止】を押し、伸び出ているノズルを戻す

6 取り外したノズルシャッターを掃除する

ノズルシャッターの取付け

1 ノズルが伸び出ていない状態で、ノズルシャッターのツメ（2ヵ所）をベース面の凹部に強く押し込む

※ ベース面に沿わせて“カチッ”と音がするまで押し込んでください。
※ ノズルが伸び出ている場合は、【止】を押して戻します。



ベース面に沿わせて押し込みます。

[注意]
- “カチッ”と音がするまで押し込んでください。
  また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
- シャッターには、上下の向きがあり、決まった方向にしか取り付けできません。
- 無理な力を加えないでください。
  ※ 破損する恐れがあります。

ノズル・温風乾燥ダクトのお掃除

ノズルの掃除には、以下の方法があります。

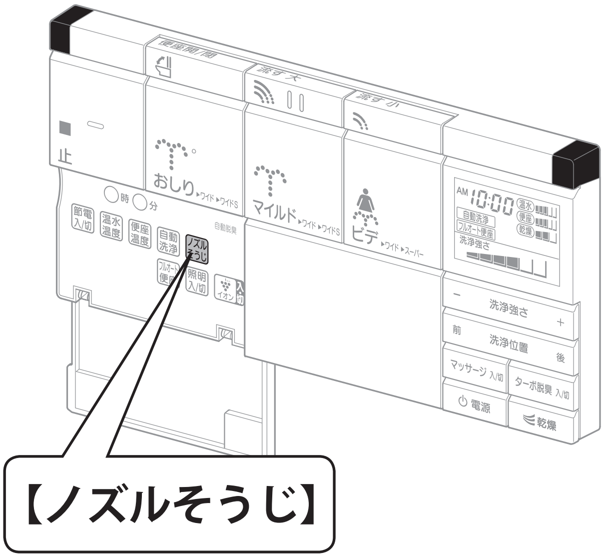
- 使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。**“リモコンノズル洗浄”**
- 日頃の掃除時、ノズル・温風乾燥ダクトを電動で伸ばし、しつこい汚れをスポンジなどで落とせます。

使用中（着座中）のノズル掃除

● 使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

1【ノズルそうじ】を押す

※ノズルが本体に収納されたまま、約 15 秒間洗浄します。



❖オートクリーニング機能について
おしり・マイルド洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄するオートクリーニング機能が付いています。

ノズル・温風乾燥ダクトのお掃除

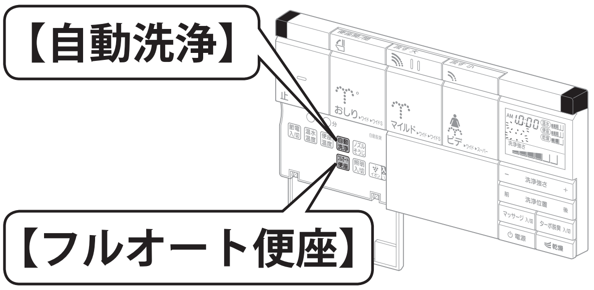
お手入れ時のノズル・温風乾燥ダクト掃除

● お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

※おしりノズル・ビデノズル・温風乾燥ダクトの順にお手入れができます。

1【自動洗浄】と【フルオート便座】〈フルオート便器洗浄付、フルオート便座付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

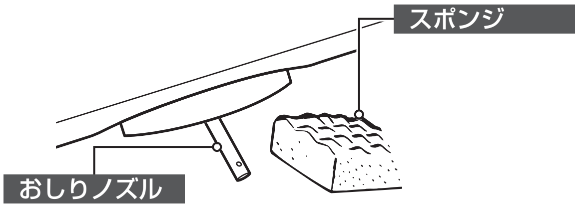


2 便フタ・便座を開く

3【ノズルそうじ】を押す

※ノズル付近から約５秒間水が出た後、おしりノズルが伸び出ます。このとき、シャワーは噴出しません。

4 おしりノズルを掃除する

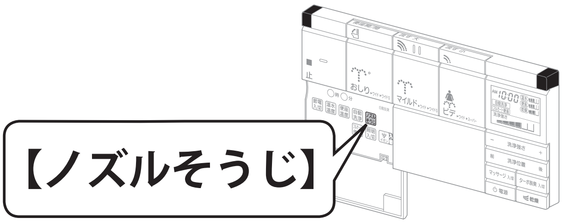


※約５分たつと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、再びおしりノズルが伸び出ます。

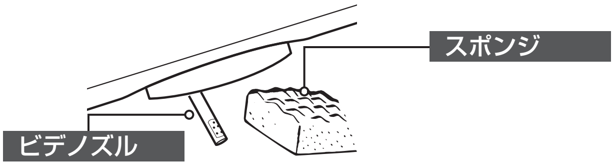
(参考)
- 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」(☞53ページ)をご覧ください。

5【ノズルそうじ】を押す

※おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸びてきます。



6 ビデノズルを掃除する



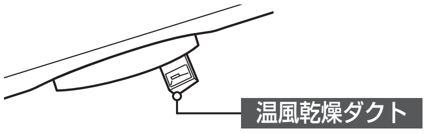
※約５分たつと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後､【ノズルそうじ】を２度押すと、再びビデノズルが伸びます。

7【ノズルそうじ】を押す

〈温風乾燥付の場合〉
※ビデノズルが戻り、替わって温風乾燥ダクトが伸びてきます。
〈温風乾燥無の場合〉
※ビデノズルが戻ります。

〈温風乾燥付の場合〉

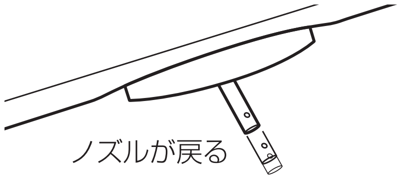
8 温風乾燥ダクトを掃除する



※温風乾燥ダクトは、柔らかい布などで、ふいてください。
※約５分たつと､温風乾燥ダクトは自動で戻ります。温風乾燥ダクトが戻った後に、【ノズルそうじ】を３度押すと、再び温風乾燥ダクトが伸びます。

9【止】を押す

※ノズルが戻ります。



[注意]
- ノズルに強い力を掛けないでください。
  ※故障の原因になります。
- ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。
  ※ノズルが引っ込まなくなり､故障の原因になります。もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。
- 歯ブラシでこすらないでください。
  ※キズが付く原因になります。

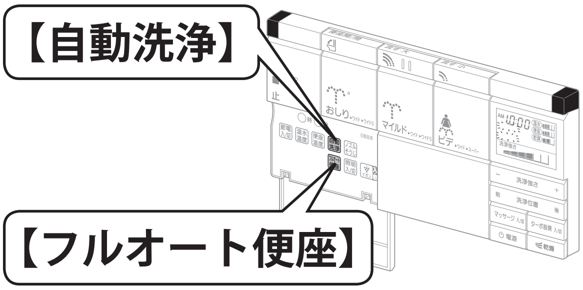
ノズルの先端を取り替えたい

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 84 ページ）をご覧ください。

ノズル先端の取外し

1 【自動洗浄】と【フルオート便座】〈フルオート便器洗浄付、フルオート便座付の場合〉を「切」にする

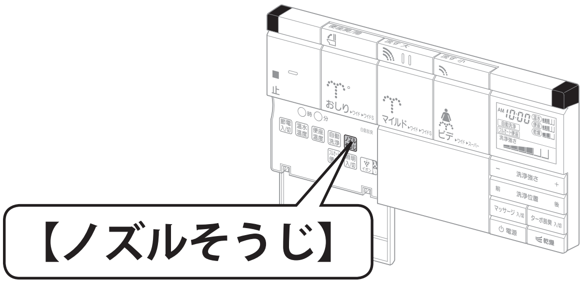
※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。



2 便フタ・便座を開く

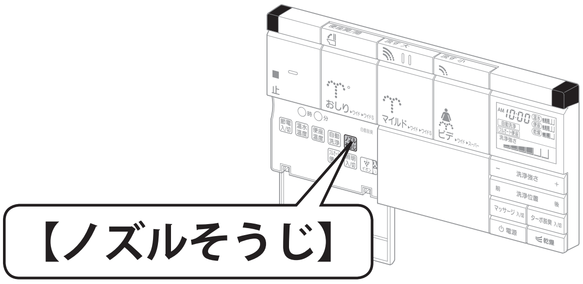
3 【ノズルそうじ】を押す

※おしりノズルが伸び出ます。
※ノズル付近から約 5 秒間水が出た後、おしりノズルが伸び出てきます。このとき、シャワーは噴出しません。



〈ビデノズルを交換したい場合〉
もう一度、【ノズルそうじ】を押す

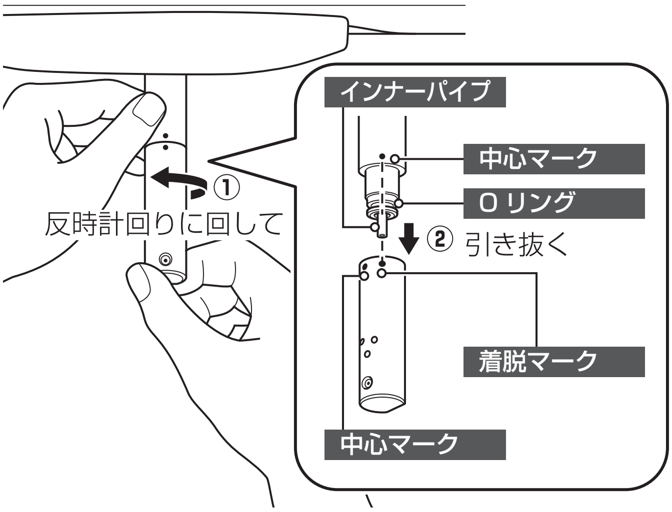
※ビデノズルが伸び出ます。



[注意]
● 着座中は、ノズル先端の交換をすることができません。

4 「ノズル先端」を反時計回りに回して「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体中心マーク」を合わせ、引き抜く

※少しノズルを引っ張り出し、ノズルの奥側を手で押さえて取り外してください。



※ノズルが停止している間に「ノズル先端の取付け」（☞ 57 ページ）の手順に従って新しいノズルに交換してください。

[注意]
● インナーパイプを取り外さないでください。
※故障する恐れがあります。

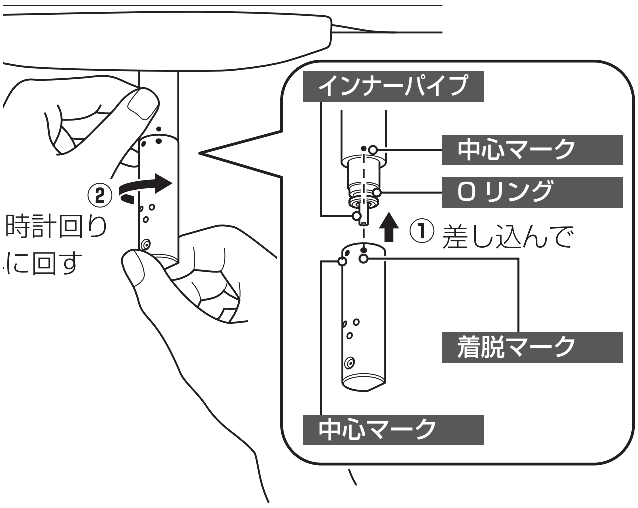
お掃除・お手入れ方法

ノズル先端の取付け

※ ノズル本体が引っ込んでしまった場合は、もう一度「ノズル先端の取外し」2、3の操作をしてノズルを出してください。

1「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体の中心マーク」を合わせて、奥までしっかり差し込み、ノズル先端を動かなくなるまで時計回りに回す

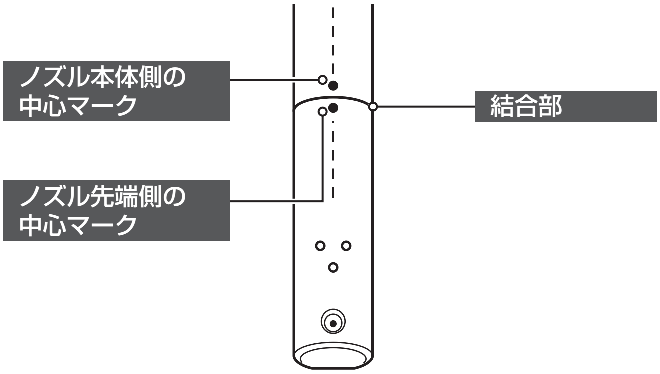
※ ノズルの奥側を手で押さえて取り付けてください。



[注意]

- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。
- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- O リングにキズを付けないよう注意してください。
  ※ 漏水の原因になります。

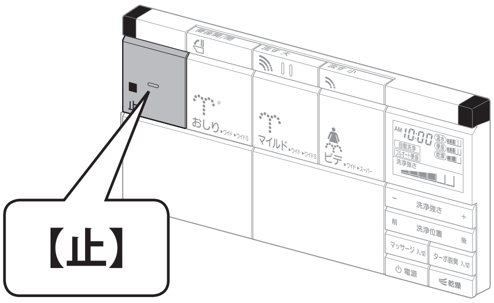
2「結合部」を確認する



[注意]

- 取付後、ノズル本体側の角とノズル先端側の角が合っていること、また「結合部」が平らになっていることを確認する。
  ※ 故障する恐れがあります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまう恐れがあります。

3【止】を押して、ノズルを戻す



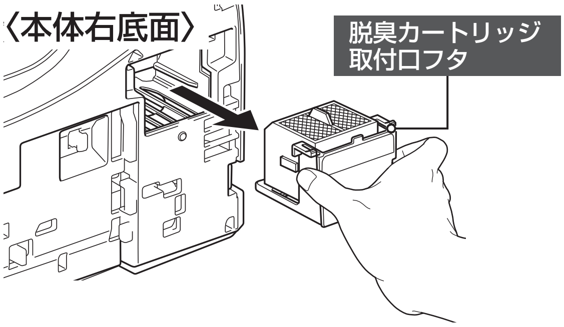
脱臭効果が弱くなったら

「脱臭カートリッジ」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、お手入れしてください。

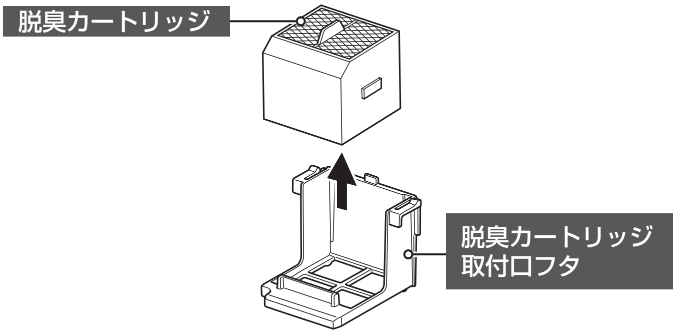
脱臭カートリッジのお手入れのしかた

1 本体を便器から外す（☞ 51 ページ）

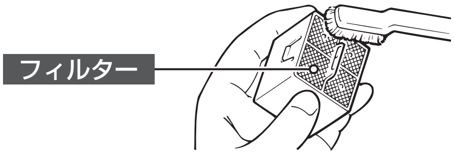
2「脱臭カートリッジ取付口フタ」を外す



3「脱臭カートリッジ取付口フタ」から「脱臭カートリッジ」を取り出す

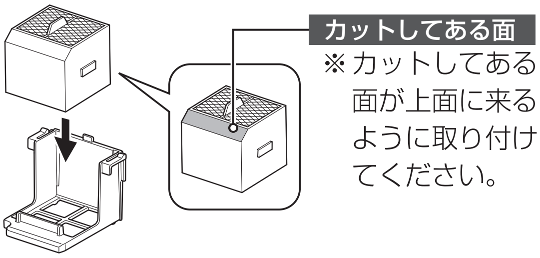


4 フィルターのホコリなどを歯ブラシなどで取り除く



[注意]
●「脱臭カートリッジ」本体は水洗いできません。

5「脱臭カートリッジ」を「脱臭カートリッジ取付口フタ」に差し込む



※カットしてある面が上面に来るように取り付けてください。

6 底面の「脱臭カートリッジ取付口」に「脱臭カートリッジ取付口フタ」を挿入し、ロックする

7 本体を便器に取り付ける（☞ 52 ページ）

⚠注意

禁止	**脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。** ※ ケガの原因になります。
指示実行	**脱臭カートリッジ組付け時に、脱臭カートリッジフタと本体の間に指を挟まないように注意する。** ※ ケガの原因になります。

■お手入れの後は、電源プラグをコンセントに差し込んで、便座の温度設定が電源プラグを抜く前と同じであることを確認してください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

■「脱臭カートリッジ」のお取替えについて
お手入れしてもまだニオイが気になる場合、「脱臭カートリッジ」の寿命ですので、新品と交換してください。
「脱臭カートリッジ」の寿命は、通常使用で約 7 年です。
※「脱臭カートリッジ」の寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。
※お取替用の「脱臭カートリッジ」のお求めは、「別売品のご案内」（☞ 83 ページ）をご覧ください。

■使用開始日の記入
シャワートイレ使用開始日を日付記入欄に記入し、「脱臭カートリッジ」交換目安としてください。また、交換後は新しい「脱臭カートリッジ」にある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。
年　　月　　日

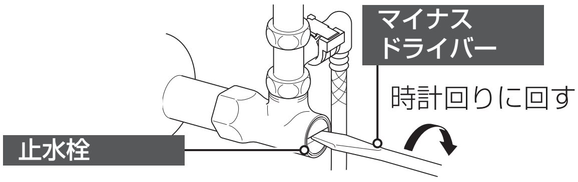
シャワーが弱くなったら

長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなり始めたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーのお掃除のしかた

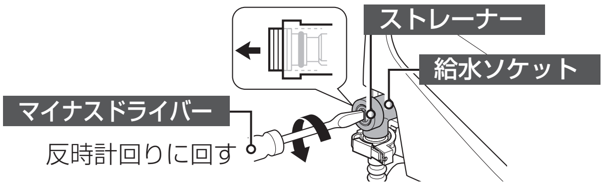
1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す

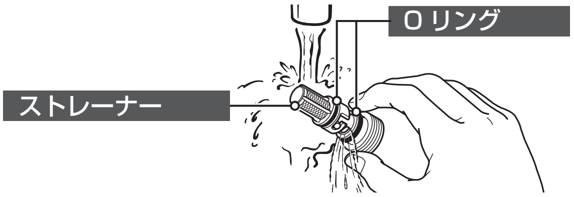
※このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



❖ストレーナーを外す際
給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

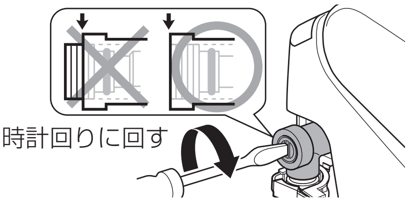
[注意]
●ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3 「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



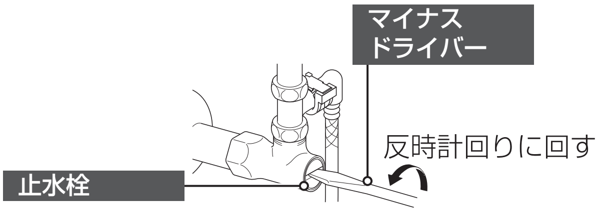
4 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に締め付ける

※ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。



[取付時の注意]
●ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

5 「止水栓」を元の位置まで開く



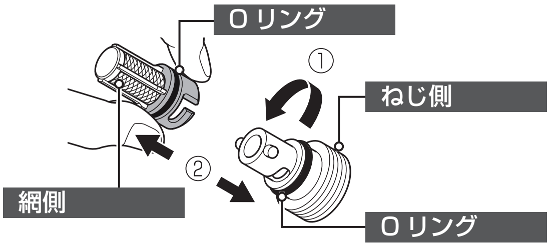
6 止水栓部から水漏れしていないか確認する

⚠注意

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり締める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

■ストレーナーの汚れがひどい場合は
ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
※網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

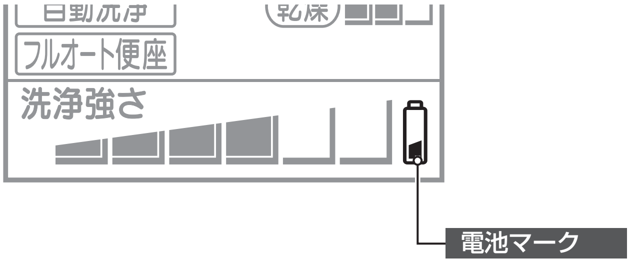


リモコンの電池マークが点滅したら

電池消耗により、「電池マーク」が点滅します。（☞ 38 ページ）

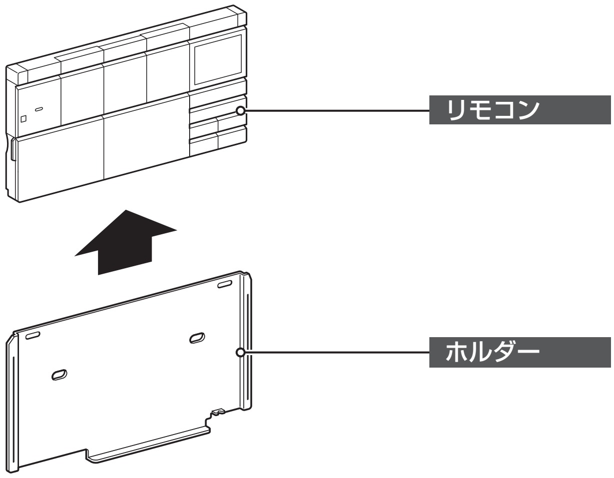
[注意]
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。
- 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。

〈液晶部〉



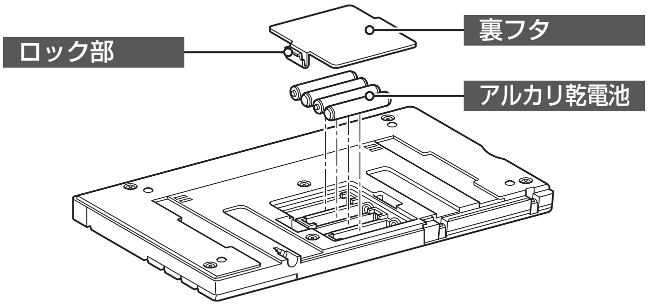
リモコンの電池交換

1「リモコン」を上に持ち上げて、「ホルダー」から外す



2「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」（1.5V アルカリ単四形、4 本）に取り替える

※ 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。
※ 裏フタが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具にてロック部を解除して外してください。



3「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に上から差し込む

4【時】【分】を押して時刻を合わせる
（☞ 16 ページ）

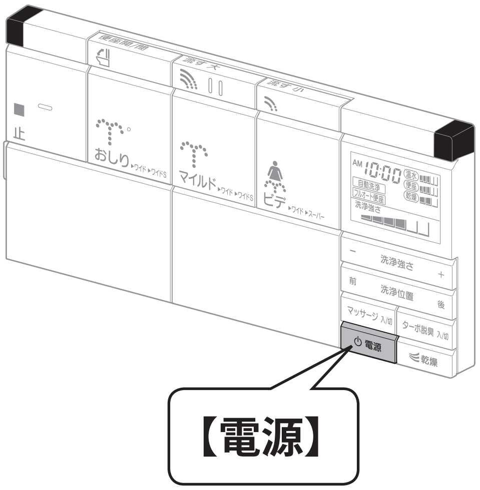
（参考）
- 電池マークは電池が消耗したときのみ点滅します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。
- 電池交換の際は、電池を取り外した後に液晶部の電池マークが消えてから新しい電池を入れてください。
電池交換後も電池マークがついたままになる場合があります。

電源プラグ（漏電保護機能付）の点検

電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。

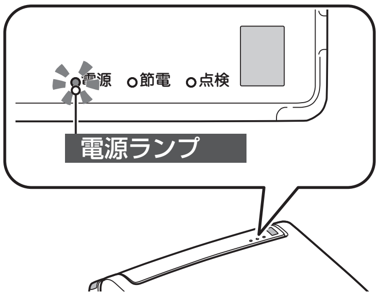
点検の目安は月に 1 ～ 2 回程度

1 【電源】を押して「入」にする

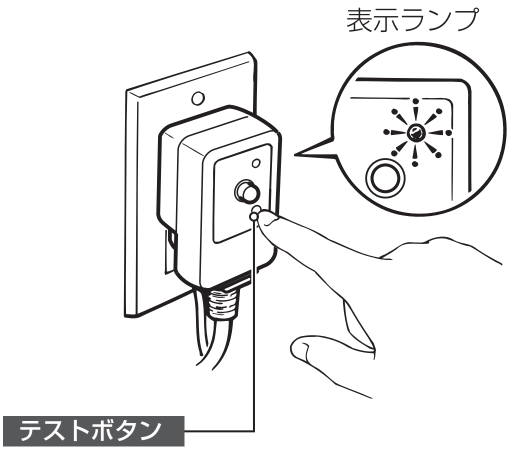


2 「電源ランプ」の点灯を確認する

●本体表示部

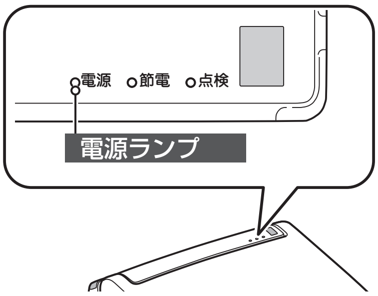


3 電源プラグの「テストボタン」を押して、「表示ランプ」が点灯することを確認する

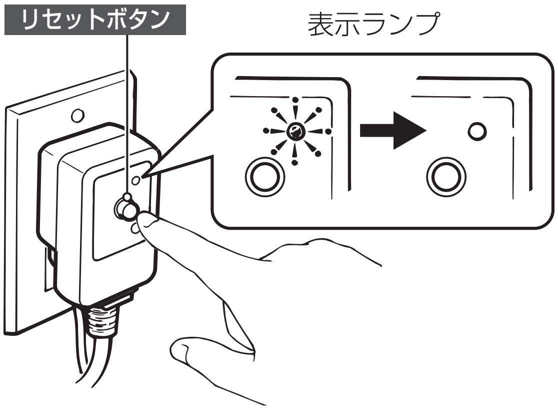


4 「電源ランプ」の消灯を確認する

●本体表示部



5 「リセットボタン」を押して、「表示ランプ」が消灯することを確認する



※ この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。再度セットし直してください。

定期的な点検のお願い

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

● 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、

取付けの日から 6 年後です。

●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。
有料になりますが、定期的に点検を受けていただくことをお勧めします。
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検は LIXIL 修理受付センターまでご依頼ください。（下記参照）
LIXIL 修理受付センターにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

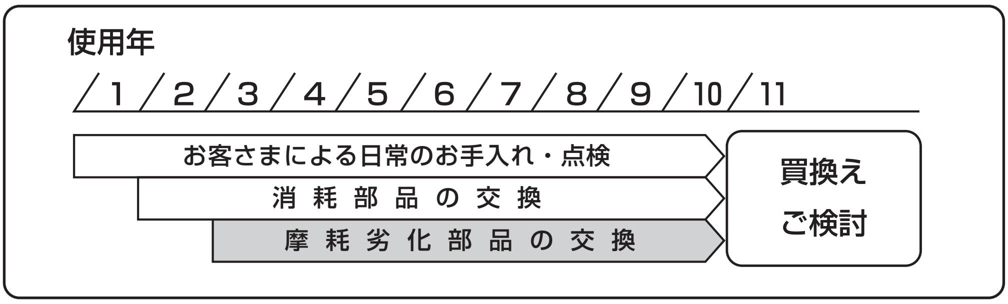
受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

●部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。
●摩耗劣化する部品の例
例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファンなど
●部品の交換については、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉



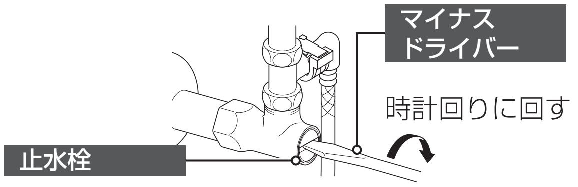
長期間使用しないときは

以下の場合は本体内および給水ホースの水抜きを必ず行い、電源を抜いてください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

給水ホース・本体内の水抜きのしかた

1「止水栓」を閉めて、給水を止める

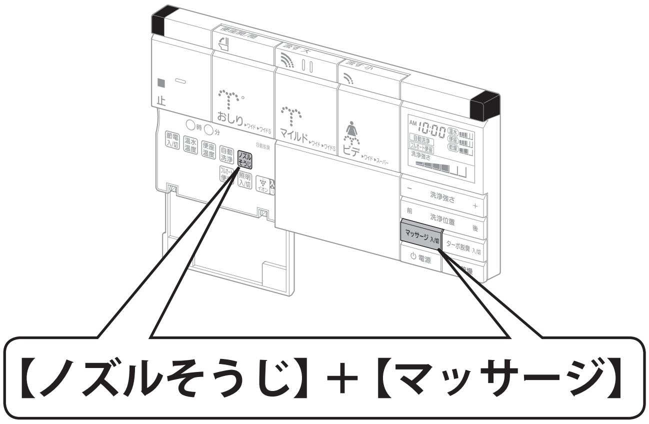
※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



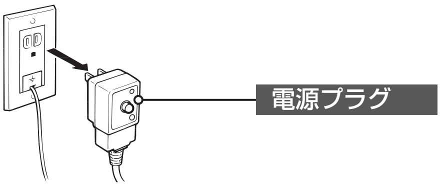
2 ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く（便器洗浄）

3【ノズルそうじ】と【マッサージ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※本体内の残水が便鉢に排出されます。

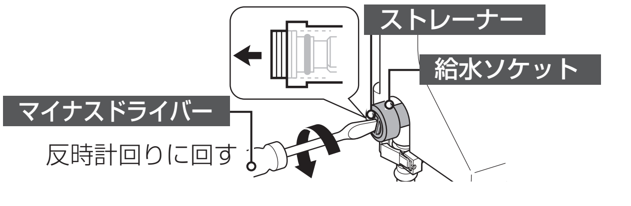


4 電源プラグをコンセントから抜く



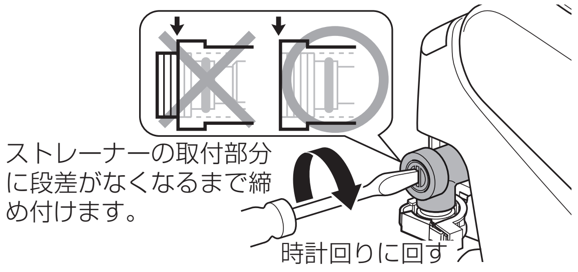
5 シャワートイレ本体から水を抜く

① ストレーナーの下に洗面器などを置く
② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



③ シャワートイレ本体を便器から取り外す
④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体内の水を抜く
※シャワートイレ本体の外しかたは 51 ページを参照してください。

⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける



⑥ シャワートイレ本体を便器に組み付ける

6 給水ホースから水を抜く

① 止水栓側から給水ホースを外し、ホース内の水を抜く
※クリップの外しかたは 64 ページを参照してください。
② 給水ホースを取り付ける
※給水ホースの付けかたは 64 ページを参照してください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 13 ページ）

⚠注意

指示実行

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

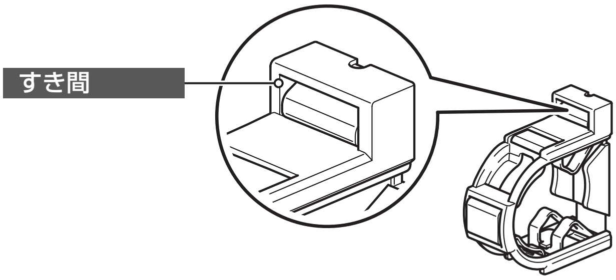
お掃除・お手入れ方法

引越しなどで本体を移設するときは

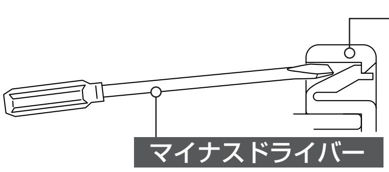
給水ホースの外しかた

※給水ホースを取り外す際は、止水栓を閉めて便器洗浄を行い、圧力を抜いてください。

クリップを外してから、給水ホースを外してください。

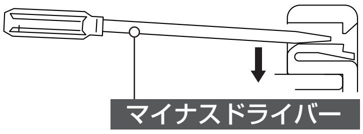


1 すき間にマイナスドライバーを差し込む

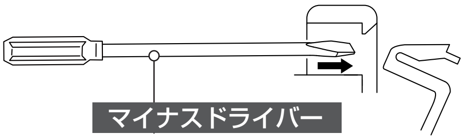


※ロック部のツメが引っ掛かる構造になっています。

2 すき間に差し込んだマイナスドライバーを、箱状部分のつけ根方向に押す



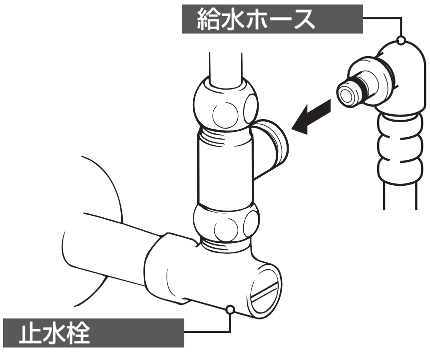
3「2」の状態から前に押し、ツメを外す



※前に押すとき、ドライバーを少しひねりながら行うと、押しやすくなります。

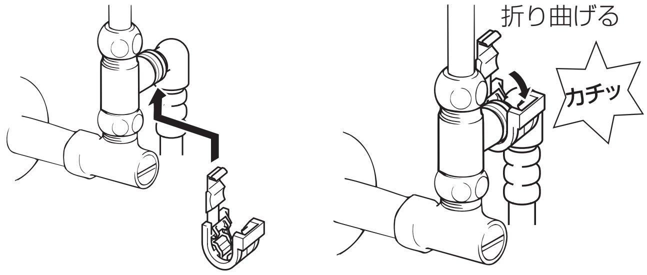
給水ホースの付けかた

1 止水栓と給水ホースを取り付ける



2 クリップを下図のとおり、“カチッ”と音がするまで取り付ける

※取付後、クリップを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

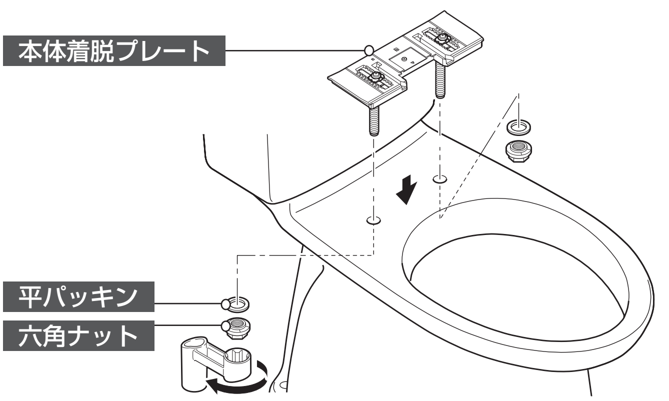


■シャワートイレ本体を移設のために取り外す場合は

引越しなどでシャワートイレ本体を移設する場合は、以下の手順で取り外してください。

1.「シャワートイレを取り外す（☞51 ページ)」の手順に従って、シャワートイレ本体を取り外します。

2. 便器下側の六角ナットを外して、本体着脱プレート、平パッキンを取り外します。



お掃除・お手入れ方法

修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。
※「★」マークは、壁リモコン以外をご使用される場合の参照先です。お使いのリモコンの取扱説明書をご覧ください。

全機能

現象	原因	処置	ページ
すべての機能が動作しない(電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気が来ていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	ー
	電源が「切」(電源ランプ消灯)になっていませんか。	【電源】を押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。	13 ★ご使用前の準備
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	13
	漏電していませんか。(電源プラグの表示ランプが点灯している。)	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	61
	100V 以外の電圧が掛かっていませんか。	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	ー
リモコンのスイッチを押しても動作しない(電源ランプは点灯している)	リモコンの電池が消耗していませんか。(電池マーク点滅*)	新しい電池に交換します。	60 ★リモコンの電池交換
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。	60 ★リモコンの電池交換
	リモコンの送信部、または受信部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。	ー
	インバーター照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。 正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	ー
	リモコンの受信部に太陽光が当たっていませんか。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	ー
	リモコンの液晶部に「OFF」と表示されていませんか。	【電源】を押して、リモコン電源を「ON」にします。	ー

＊：条件によっては、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄

現　　　象	原　　　因	処　　　置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	13
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	59 ★おしり洗浄 / ビデ洗浄
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。	20,21,22 ★おしり洗浄 / ビデ洗浄
	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	37
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	37
	シャワートイレへの給水温度が高くなっていませんか。	故障ではありません。配管凍結防止ヒーターなどにより給水温度が約40℃以上になった場合、配管内の高温水が抜けるまでシャワーが出ないことがあります。この場合は便器洗浄などをして配管内の高温水を抜き、もう一度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。またこの現象が繰り返し起こる場合には、配管凍結防止ヒーターなどの使用方法を見直してください。	―
シャワーが出るまでに時間が掛かる	シャワートイレへの給水温度が低くなっていませんか。	故障ではありません。給水温度が低い冬期など温水を出す準備をするために、シャワーが出るまでの時間が長くなることがあります。	―
以前使用していた機種よりも、シャワーが出るまでに時間が掛かる	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーが出るまでの時間が長くなる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		―
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水温度】を押し、適当な温度に調節します。	15 ★ご使用前の準備
シャワーがうまく当たらない	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーの当たる位置に違いが感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		―
シャワーが弱い	シャワートイレへの給水温度が低くなっていませんか。	故障ではありません。 冬期など給水温度が低くなると、洗浄強さが少し弱くなる場合があります。	―
	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。	20,21,22

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
ノズルシャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシなどで引っ掛けて落としていませんか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	53
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しいですか。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	57
シャワー使用時にモーター音がする	故障ではありません。 シャワー水を噴出させるためのポンプが動いている音です。 洗浄モードや洗浄強さによって音が異なります。		ー
以前使用していた機種よりも、シャワーが強いまたは弱い	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーが強く感じられる、または弱く感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		ー

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	【便座温度】を押し、適当な温度に調節します。	15 ★ご使用前の準備
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	27 ★節電
	鉢内除菌が動作中ではありませんか。	故障ではありません。使用条件により温度ムラを感じることがあります。鉢内除菌を解除して様子を見てください。	29 ★より快適な機能
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	31 ★より快適な機能
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	ー
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。製品の特性であり、故障ではありません。		39

脱臭

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーが何かで覆われていませんか。	着座センサーを覆っているものを取り除きます。	14
	着座センサーが汚れていませんか。	センサー部を柔らかい布で水ぶきします。	―
	不適切な便フタカバーを使用していませんか。（着座センサーにカバーが掛かっていませんか。）	便フタカバーを外して使用してください。	12,37
	鉢内除菌が作動していませんか。	故障ではありません。 鉢内除菌は 45 分 ON、15 分 OFF の断続運転をします。脱臭ファンは脱座後 1 分間動作します。	―
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。	19 ★脱臭
	便座に 2 時間以上座っていませんか。	故障ではありません。便座に 2 時間以上座っていると、自動的に着座センサーが「切」になります。	―
脱臭効果が弱くなった（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリなどが付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除します。	58
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。	58,83

フルオート便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
フルオート便器洗浄部： ● 自動で動かない ●「大」･「小」時、逆方向に動く ● 動作中に異音がする	【自動洗浄】が「切」になっていませんか。	【自動洗浄】を「入」にします。	25 ★便器洗浄
	フルオート便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続します。	69
	フルオート便器洗浄ユニットの設定（モード）が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄ユニット」の施工説明書をご覧になって、モードの設定変更をするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。	―

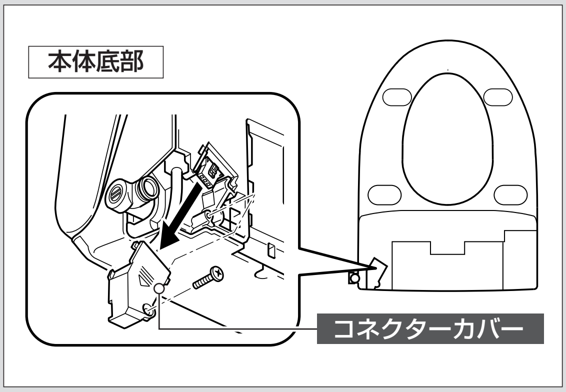
■フルオート便器洗浄モード設定の変更方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

	壁リモコンの場合	インテリアリモコンの場合
「大小洗浄」⇆「大のみ洗浄」の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**【止】＋洗浄位置【前】** 同じタイミングで 6 秒間押す。	**【止】＋洗浄位置【前】** 同じタイミングで 6 秒間押す。
洗浄ハンドル回転方向 **「反時計方向」⇆「時計方向」**の切替操作 ※元に戻すのも同じ方法で行います。	**【おしり】＋【節電】** 同じタイミングで 6 秒間押す。	**【電源】＋【ノズルそうじ】** 同じタイミングで 6 秒間押す。

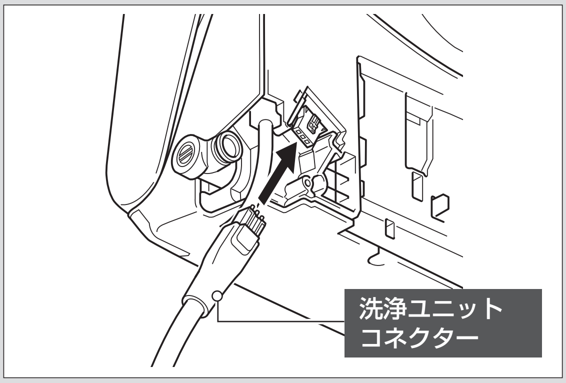
修理を依頼する前に

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1.【電源】を「切」にします。
2. 本体をスライド着脱で便器から外し、便器の上に立てます。
(☞ 51 ページ)
3. プラスドライバーを使ってねじを外し、コネクターカバーを外します。
4. フルオート便器洗浄ユニットのコネクターと接続します。



5. コネクターカバーを取り付け、ねじを締め付けて固定します。
6. 本体を便器に取り付けます。
(☞ 52 ページ)
7.【電源】を「入」にします。



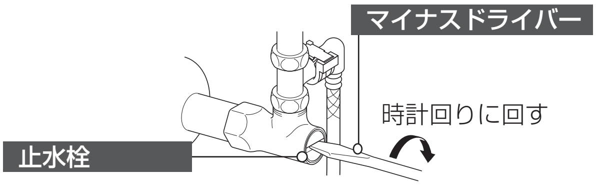
《フロート弁・鎖の調節》

洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れなかったり、流れっ放しなどの不具合は、ロータンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。以下の要領で調節してください。

タンクフタの取外し

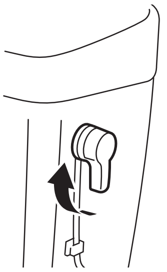
1「止水栓」を閉めて、給水を止める

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



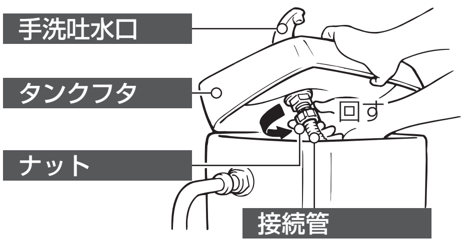
2 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

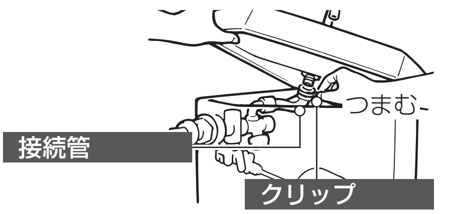
※洗浄水が流れない場合は、タンクフタを外し、中の水を汲み出すか、フロート弁の鎖を引っ張って水を流し出します。注意ください。



3 タンクフタをロータンクから外す

手洗吐水口付は、ゆっくりとフタを持ち上げて中を見て、手洗吐水口と接続管がナットか、またはクリップで接続していることを確認します。
ナットやクリップを緩め、フタから接続管を外して、フタを取り外してください。
※ナットやクリップがない場合もあります。





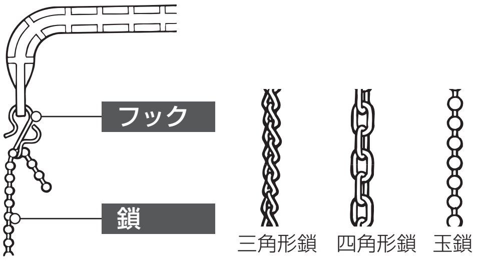
[注意]
●手洗吐水口付の場合は、フタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。
※トイレ内をぬらす恐れがあります。

フロート弁・鎖の調節

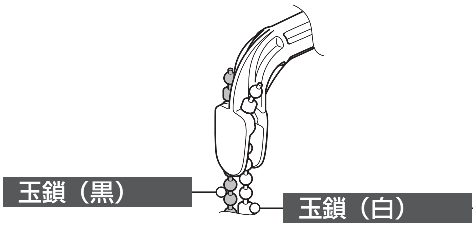
1 タンクフタを外したら、ロータンク内の鎖の形状を確認する

※鎖の形状により、調節方法が異なる場合があります。

〈鎖が 1 本の場合〉

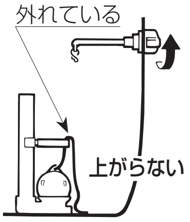
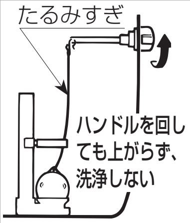
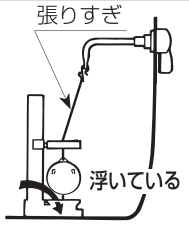


〈鎖が 2 本の場合〉



〈鎖が 1 本の場合〉

2 フロート弁・鎖の状態を確認する

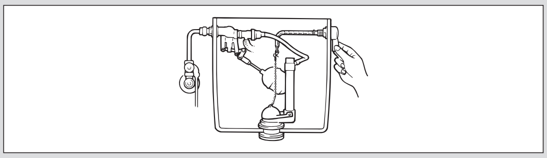
現象	洗浄水が流れない		流れっ放し
	鎖が外れている	鎖がたるんでいる	鎖が張りすぎ
原因			

3 鎖の調節を行う

① レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、フックの鎖掛け部に合わせます。

（参考）

●ストッパーがないタイプは、フロート弁が最も持ち上がる位置まで鎖を引き上げます。

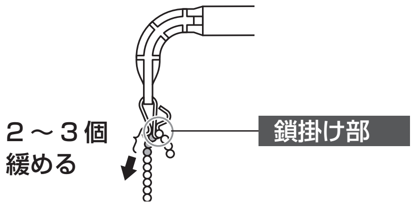


② 鎖を合わせた位置から緩めます。

（参考）

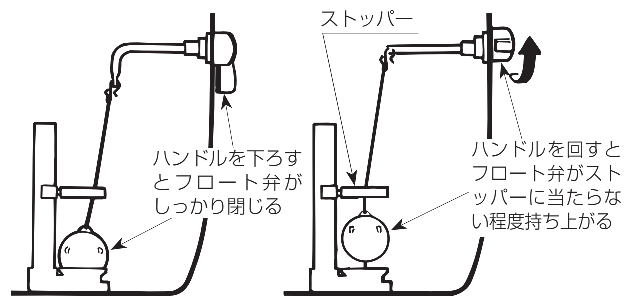
●鎖の種類によって、緩める個数が違います。

- 三角形鎖、玉鎖　：2 ～ 3 個程度
- 四角形鎖　：1 個程度
- ストッパーがないタイプ：3 ～ 4 個程度



③ 洗浄ハンドルを操作してレバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認します。

4 玉鎖の取付けを確認する



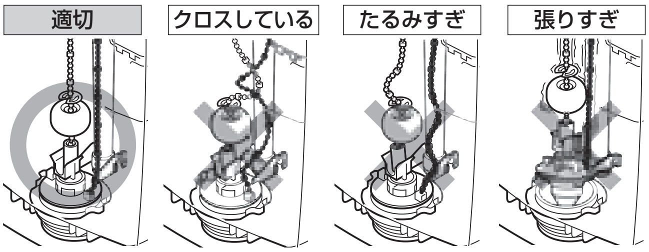
［注意］

●鎖やレバーが浮玉など他のものに触れたり、引っ掛かりがないようにしてください。

●十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

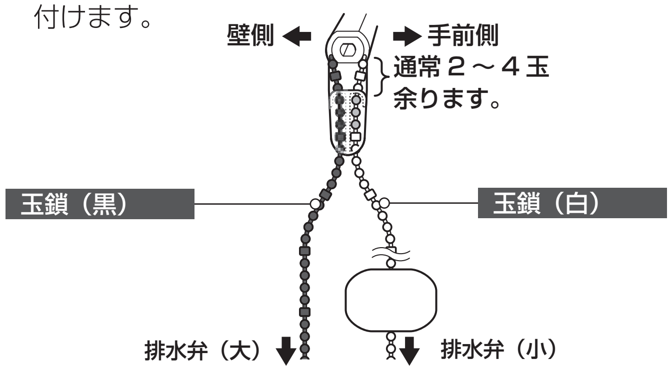
〈鎖が 2 本の場合〉

2 フロート弁・鎖の状態を確認する



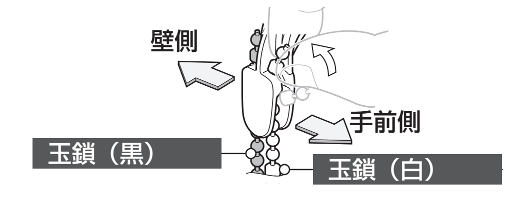
3 鎖の調節を行う

レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、玉鎖をハンドルに取り付けます。

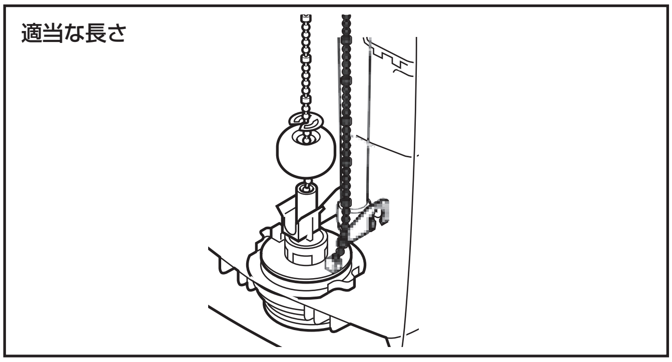


［注意］

● 玉鎖は手前が白、壁側が黒になるように取り付けてください。
※ 反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。

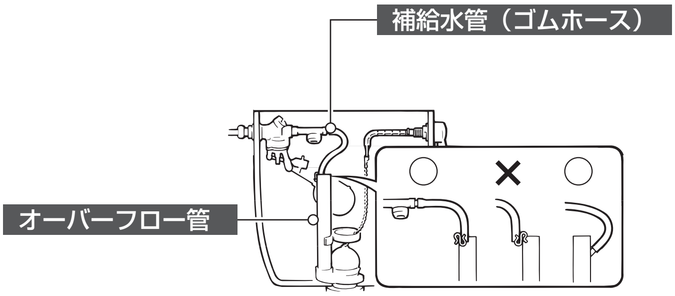


4 玉鎖の取付けを確認する



タンクフタの取付け

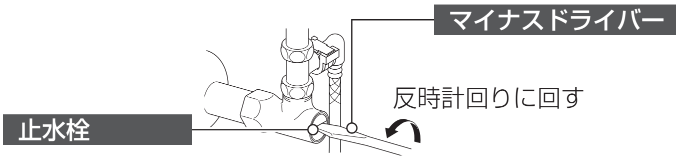
1 補給水管がオーバーフロー管に固定されていることを確認する〈補給水管がある場合〉



2 タンクフタを乗せる

手洗吐水口付の場合は下記をご覧ください。

3「止水栓」を元の位置まで開く



4 流す【大】を押す
または、本体の洗浄ハンドルを回して、正常に洗浄水が流れることを確認する

※ **十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる場合**は、再度鎖を調節してください。(☞ 70 ページ)

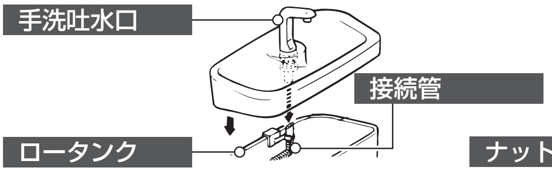
［注意］

● 水がロータンクから漏れたり、水が出ない場合は、すぐに止水栓を閉めてタンクフタを取り付け直してください。

〈手洗吐水口付の場合〉

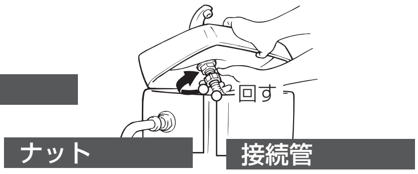
差し込むタイプ

吐水口と接続管を合わせて、ゆっくりとタンクフタを下ろして差し込みます。



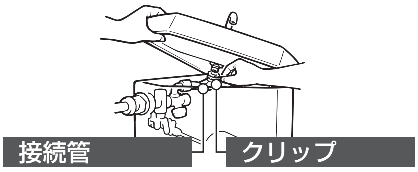
ナットで接続するタイプ

吐水口に接続管のナットを回して、接続します。



クリップで固定するタイプ

あらかじめクリップを接続管にはめておき、吐水口に接続管を差し込んで、クリップでしっかりと固定します。



フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座・便フタがバタンと落ちる	電動開閉中に便フタを押さえませんでしたか。	もう一度【便座開 / 閉】を押し、電動開閉しない場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	─
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。	18
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	13
便フタが自動開閉しない または便座が電動開閉しない	【フルオート便座】が「切」になっていませんか。	【フルオート便座】を「入」にします。	17 ★フルオート便座
	市販の便フタカバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバーを外して使用してください。	18
	便フタが正しく取り付けられていますか。	便フタを正しく取り付けます。	48
	便フタを手動で閉めていませんか。	手動で便フタを閉じると約 10 秒間は自動で便フタは開きません。	─
	室温が 30℃を超えていませんか。	室温 30℃を超える場合や直射日光などで作動しにくい場合があります。	─
	人体検知センサー（上）が汚れていませんか。	センサー部を、柔らかくきれいな布でふきます。	37
便フタが開きっぱなしになっている、または、人がいなくても開閉を繰り返している	着座センサーが汚れていませんか。	センサー部を、柔らかい布で水ぶきします。	37
	直射日光が直接センサーに当たっていませんか。	直射日光が当たらないようにしてください。	─
便座・便フタが開きっぱなしになっている	人体検知センサー（下）が汚れていませんか。	センサー部を、柔らかくきれいな布でふきます。	37
便座・便フタを開くときにカチカチと音がする	便座・便フタ電動開閉の作動中に、動きを止めたり逆方向に動かしていませんか。	便座・便フタ電動開閉の動きの障害になっているものを取り除いてください。	18
便座・便フタを開いたり閉じたりするときにカチッと音がする	故障ではありません。 使用中に便座・便フタが倒れないように自立保持機構（バネ）を設けています。自立保持機構が作動している音です。開閉に異常がなければそのままご使用ください。		─

修理を依頼する前に

フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座を自動で開く際、勢いよく開いて、便フタにあたる	故障ではありません。 便座が倒れてこないようにしっかりと開くためです。		ー
以前使用していた機種よりも、動作音が大きい	他機種からの買い換えの場合、以前のものと製品の構造が異なるため、動作音が大きいと感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		ー

温風乾燥〈温風乾燥付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
温風が出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	37
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	37
	便座に 2 時間以上座っていませんか。	故障ではありません。便座に 2 時間以上座っていると、自動的に着座センサーが「切」になります。	ー
温風が暖かくない	【乾燥】が適当な温度に調節されていますか。	【乾燥】を押し、適当な温度に調節します。	24 ★温風乾燥
	使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)		ー
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	もう一度、【乾燥】を押します。	24 ★温風乾燥

お掃除リフトアップ

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
リフトアップ下降時に本体が降りきらない	本体と便器の間に異物が入っていませんか。	異物を取り除いてください。	ー
	「脱臭カートリッジ取付口」のフタがしっかり閉まっていますか。	「脱臭カートリッジ取付口」のフタをしっかりと閉めます。	58
ロックが掛からない	本体着脱プレートの固定ボルトが緩んでいませんか。	本体着脱プレートの固定ボルトをしっかりと固定します。	50

鉢内除菌〈鉢内除菌付の場合〉

現　象	原　因	処　置	ページ
プラズマクラスターが動作しない	プラズマクラスターイオンを「切」にしていませんか。	プラズマクラスターイオンを「入」にします。	29
	フルオート便座を「切」にしていませんか。	便フタが閉じた状態のとき動作します。フルオート便座を「入」にします。	
	便フタが開いた状態になっていませんか。	便フタが閉じた状態のとき動作します。手動で便フタを閉めます。	

その他

現　象	原　因	処　置	ページ
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	ー
本体がガタつく、ずれる	本体がロックされていますか。	本体をしっかり押し込んでください。	52
	本体着脱プレートが緩んでいませんか。	取付ナットを締め直してください。	76
使用しているときに、本体から〝カチッ〟と音がする	故障ではありません。 シャワートイレ本体が通水するときに弁が動いている音です。		ー
本体から〝グググッ〟と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●おしり・マイルド洗浄・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ問題ありません。		ー
使用していないときに、本体からファンが回っている音がする	鉢内除菌、脱臭機能が動作している可能性があります。機能の状態を確認してください。 鉢内除菌は、45分間ON、15分間OFFの断続運転を行います。脱臭ファンは脱座後、1分間動作します。		19,29

その他（つづき）

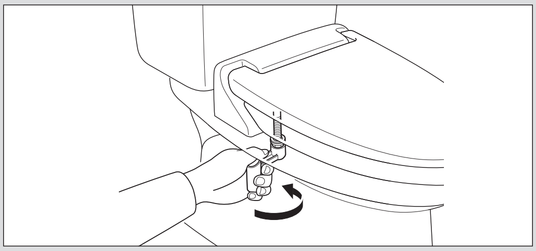
現　　象	原　　因	処　　置	ページ
電源ランプが点滅している	シャワートイレ本体に給水されていない。（断水、止水栓が閉まっているなど）	給水後、止水栓を開いて、試運転を行ってください。 それでも点滅する場合は、**電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	13
	温水・便座・温風乾燥・おしり洗浄モーターのいずれかの機能に不具合が生じている。	【電源】を「切」にしても点滅している場合は、**故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	ー
	給水ホースなど、配管に凍結防止ヒーターが付いていませんか。	凍結防止ヒーターを「切」にしてください。 給水温度が 40℃を超えると安全装置が働き作動しなくなります。	ー
点検表示が点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	77
プラズマクラスター表示部が点滅している	プラズマクラスター機能に不具合が生じている。	**故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	ー
リモコンの「止」ボタンが点滅している	正常です。	消したいときはリモコンの【温水温度】と【照明】を同じタイミングで 2 秒以上押します。	30
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		ー
便座裏側にある前足の片側が便器についていない	故障ではありません。 前足の片側は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		ー
漏水している	ストレーナーが緩んでいませんか。	ストレーナーを締めます。	59
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	59
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	ー
便フタ・便座を開くと本体がガタつく	故障ではありません。 リフトアップ付の場合はリフトアップの動作のためにすき間を持たせた設計になっていますので、便フタ・便座を開くと本体が動きます。そのままご使用ください。		ー

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》などで変更した機能をすべてお買い上げ時の設定に戻します。	**【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押します。**	35
シャワートイレを使用すると、室内の照明がちらつく	故障ではありません。 シャワーを水から湯に暖めるときに、一時的に電力使用量が増えることで発生する場合があります。そのままご使用ください。		ー

■シャワートイレ本体と便器の固定方法

取付ボルトに平パッキンを通してナットを取り付け、本体がガタつかないよう確実に固定します。

※ ナットの締付けは片利きのないように、左右くり返し少しずつ行ってください。



安全・安心にお使いいただくために

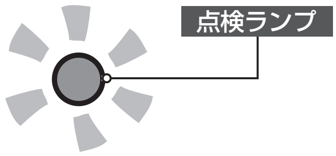
温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。
また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上当社までご返送ください。
詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※非住宅でご使用のお客さまは Web のみのご登録となります。
※ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年経過後に点検ランプが点灯します。
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期が来たことをお知らせするものです。



当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。
この機会に、内部的な確認を含んだ点検をお勧めいたします。
※お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。
LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。
※詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-179-400）

3. セルフチェック項目

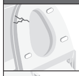
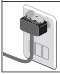
シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合　次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
 ❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
 ❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は当社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

LIXIL修理受付センター

TEL フリーダイヤル 0120-179-411
FAX フリーダイヤル 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容）

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

（想定安全使用期間とは）

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便:１回 / 日･人、小便男性:４回 / 日･人、小便女性:４回 / 日･人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（☞ 65 ページ以降）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタつき
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

他社製ロータンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

ロータンク内の部品による不具合･故障において、フルオート便器洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。
※ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品（鎖・フロートゴムなど）は、保証の対象外となります。

分解禁止
分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

指示実行
シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

指示実行
シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書が付いています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

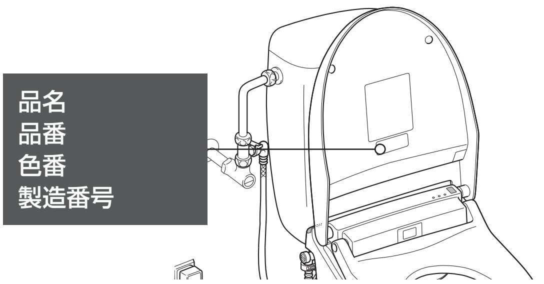
■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 6 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをお勧めします。

- ●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）･･･6 年ごとに点検（☞ 62 ページ）
- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより 3 年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により点検ランプが点灯したら（☞ 77 ページ）

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL フリーダイヤル 0120-179-400
FAX フリーダイヤル 0120-179-430

受付時間　平日　9:00〜18:00
土・日・祝日　9:00〜17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などでは
ご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL フリーダイヤル 0120-179-411
FAX フリーダイヤル 0120-179-456

受付時間9:00〜20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

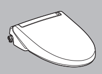
■延長保証について
通常、保証期間は 2 年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。
※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 非住宅でご使用の場合は、Web からのご登録のみとなり、保証期間は 1 年の延長となります。

仕様

			CW-EA14 型	CW-EA13 型	CW-EA12 型	CW-EA11 型
グレード			プラズマクラスター・フルオート便座・温風乾燥・脱臭・手動リフトアップ	フルオート便座・温風乾燥・脱臭・手動リフトアップ	温風乾燥・脱臭・手動リフトアップ	脱臭・手動リフトアップ
定格電源			AC100V 50/60Hz			
定格消費電力			1300 W			
省エネ区分			瞬間式			
年間消費電力量 ※1			91kWh/ 年（節電機能切時：118KWh/ 年）			
使用水道圧範囲		最低必要圧力	0.05MPa（13L/ 分以上）（流動時）、0.15MPa 以上（静水圧）			
使用水道圧範囲		最高水圧	0.75MPa（静水圧）			
使用温度範囲			0℃～ 40℃			
商品寸法			幅 423mm ×奥行 553mm ×高さ 139mm			
商品質量			約 5.5kg	約 5.4kg	約 5.1kg	約 4.9kg
電源コード			有効長さ :1.2m（漏電保護機能、アースコード付）			
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式			
機能部	洗浄	給湯方式（タンク容量）	瞬間式			
機能部	洗浄	おしり吐水量	おしり洗浄：0.30 ～ 0.50L/ 分（6 段階調節） 供給水圧 0.2MPa のとき マイルド洗浄：0.30 ～ 0.50L/ 分（6 段階調節） 供給水圧 0.2MPa のとき			
機能部	洗浄	ビデ吐水量	0.35 ～ 0.50L/ 分（6 段階調節） 供給水圧 0.2MPa のとき			
機能部	洗浄	温水温度	水温・約 32℃～ 40℃（計 6 段階切替）			
機能部	洗浄	ヒーター容量	1200W			
機能部	洗浄	安全装置	感温リードスイッチ・温度ヒューズ・フロートスイッチ・傾斜センサー			
機能部	温風乾燥	風量	$0.2m^3$ ／分			－
機能部	温風乾燥	ヒーター容量	230W			－
機能部	温風乾燥	安全装置	温度ヒューズ			－
機能部	プラズマクラスター	風量	$0.10m^3$/ 分	－		
機能部	プラズマクラスター	方式	プラズマクラスター技術による分解・除去方式	－		
機能部	暖房便座	表面温度	使用時：室温・約 28℃～ 36℃※2（計 6 段階切替) スーパー節電設定時：室温・約 27℃～ 30℃ ワンタッチ節電 (8h) 設定時：室温			
機能部	暖房便座	ヒーター容量	48W			
機能部	暖房便座	安全装置	温度ヒューズ			
機能部	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式			
機能部	脱臭	脱臭能力	フルパワー脱臭時：$0.14m^3$/ 分 パワー脱臭時：$0.11m^3$/ 分 ターボ脱臭時：$0.17m^3$/ 分			
リモコン	標準リモコン	寸法	幅 240mm ×奥行 17mm ×高さ 118mm			
リモコン	標準リモコン	電源	単四形アルカリ乾電池：4 本			
リモコン	インテリアリモコン	寸法	幅 325mm ×奥行 130mm ×高さ 38mm			
リモコン	インテリアリモコン	電源	単三形アルカリ乾電池：2 本			

※ 1： 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。
※ 2： 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。
使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。
トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

[注意] ●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。



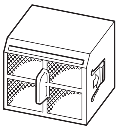
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

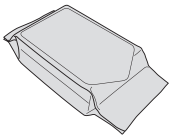
■ 取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。
ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞ 58 ページ）



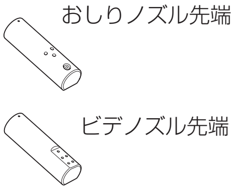
■ トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 45 ページ）



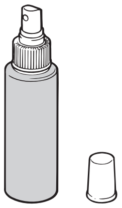
■ おしりノズル先端（品番：CWA-243）
■ ビデノズル先端　（品番：CWA-239）

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。（☞ 56 ページ）



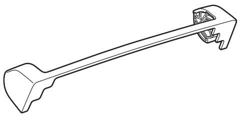
■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹き掛けて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 45、46 ページ）



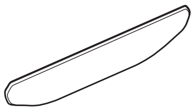
■ 便座ストッパー（品番：CWA-253）

便フタを外してご使用する場合にご購入ください。



■ ノズルシャッター（品番：CWA-247）

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。
（☞ 53 ページ）



［注意］
● 便座ストッパーをご使用の際、スーパー節電機能およびフルオート便座機能は使用できませんので、ご了承願います。

別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。

・お電話にてご注文いただく場合

LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。

[ご注文フリーダイヤル]

電話番号　0120-126-015

受付時間　9：00 ～ 17：00（土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く）

・インターネットにてご注文いただく場合

[ホームページアドレス]

http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/sales/index.html

（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

重大事故防止のためのお願い

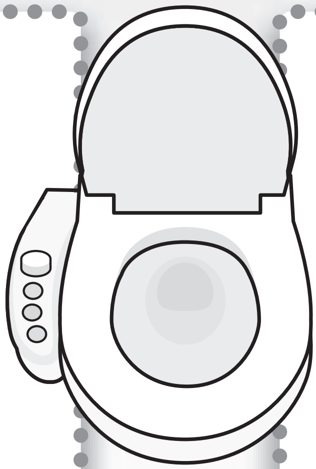
温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちにご連絡ください。

便座･便座コード

便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード･電源プラグ

電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ

水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会**　後援 **経済産業省**
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
　　　　　土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などでは
　ご利用になれない場合がございます。
　下記番号をご利用ください。
　TEL：0562-40-4050
　FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
LIXIL修理受付センターへ

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

GCW-1314(13090)

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/